

# 2018 年度 研究所事業報告書

研究所名	アート・リサーチセンター
------	--------------

## I. 研究成果の概要

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2018 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。

アート・リサーチセンター(以下、ARC)は、今後の活動の柱として、以下に述べる 3 プロジェクトを選定し、2018 年度も引き続き、集中的に取り組んだ。この 3 プロジェクトは、重点化する研究分野やプロジェクトとして研究所総合計画(5 ヵ年)に挙げたものに該当し、それぞれが学際的・有機的に連携し、本センターの研究活動を発展させつつ国際化を推進した。また、ARC は、GCOE プログラム(2007-2011 年度)の研究蓄積や体制を基盤とした文学研究科「文化情報学専修」における若手教育の実践、文部科学省共同利用共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」の運営(平成 29 年度中間評価において S 評価獲得)、平成 27 年度採択の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「日本文化資源のグローバルアクション」(2015-2019 年度)の推進などにより、本学の教育研究拠点機能を充実・発展させた。

### プロジェクト No.1: 文化資源デジタル・アーカイブの国際貢献と持続可能化方策確立

当年度は、以下 5 点を推進した。①研究体制と問題解決ラインの迅速化:「テクニカルサポートボード」による定例会議を臨時会議方式に切替え、不具合に迅速に対応可能な電源管理方式、遠隔操作方針の導入、②具体的課題の解決(A:タッチパネル型モニターを使ったデジタル型展示促進、B:ドキュメントスキャナー導入による柔軟なデジタル化対応、C:高速な文字列検索、かつ文脈付きの検索結果を提示できる PDF テキスト検索システムの開発、D:ディープラーニングによるデジタルテキスト・アーカイブシステムの導入)、③DB システムの更新・開発: DB は、浮世絵型、書籍型、写真型、番付型、文化資源[その他]型の基本となるテンプレートを備えることに成功。リソース型 DB としては、現状でどのような資源であれ、いずれかの DB に格納することで、非常に効果的な DB となることを確認。現在、それぞれが「ポータル DB」として運用されており、ARC 所蔵品の中で未整理のものも、すべて格納することが可能となった。④外部への普及活動や見学・ヒアリング対応のマニュアル作成を進めている。DB に連結したマニュアルスライドの作成を進めており、一部は英語対応も実現した。⑤ARC に所蔵・寄託されている文化財・美術品:修復の必要なものが多く、本予算を重点的に配分して修復と DA 化に努めている。古典籍・浮世絵については、本年度内に全作品のデジタル化を実現し、DB に搭載した。

### プロジェクト No.2: 有形・無形文化財のデジタルドキュメンテーションと利活用のための先端技術の開発

当年度は、以下 7 点を推進した。①祇園祭「八幡山」に対し、懸装品(昨年度と異なる)装着状態で 3 次元レーザ計測を行い、近辺の町並みの計測データと組み合わせて八幡山と町並みの両方を視認・観察できる高精細透視画像を作成。ポロブドゥール寺院の壁面レリーフのうち、石垣の中に埋められて現在見ることができないカーマウィバング・レリーフを、残された古写真から深層学習技術で 3 次元復元することに成功。②祇園祭「粽投げ」を仮想空間内で体験出来る VR コンテンツに関して、ジェスチャ認識にリープモーションを用いるバージョン新システムを構築。バーチャル平安京の大内裏内の建物 3 次元モデルを用いて「バーチャル平安京」アプリをリリース。③祇園囃子を録音した昭和時代のレコードからデジタル音響データを取得し、現在の祇園囃子との比較実験を実施し、昭和初期と現代の音色の差を明らかにした。④ARC 所蔵浮世絵および古典籍データを対象に、言語横断型の単語分散表現に基づく新たな手法を開発。⑤浮世絵の情報推薦システムにおいて、深層学習による画像の特徴抽出とその類似度計算法を検証し、それぞれの長所・短所を調べた。⑥長江家所蔵資料のデジタルアーカイブを実施し、「京町家のデジタル・ミュージアム」計画を進めた。2017 年度から長江家住宅北棟の改修工事に立ち合い、復元の記録を実施してきたが、その成果を集約し、2018 年 5 月に実施された復元内覧会にて披露した。⑦これまでの研究で、京都市所蔵の昭和 30 年頃の通り景観パノラマ写真アーカイブと Web マップシステムを構築したが、そのユーザビリティ向上の為に改良を行った。

### プロジェクト No.3: デジタル・アーカイブによる価値創造と社会的応用

当年度は、以下 3 点を推進した。①ハッキングにより破壊された仮想展示「春画を見る・艶本を読む」展の再構築において、利用者の満足度と展示効果の両方を向上させる仮想空間の運用について再検討を行った。②京都市東山区の小川文齋窯の民俗調査を行うとともに、小川家の近現代文書の調査を実施。友禅図案のデジタル・アーカイブ作業および工房関係者や製造事業者等への聞き取り調査を継続的に実施。染織関係資料データベースの国際的活用のためのバイリンガル化。③電子出版・電子図書館に関して、インタビュー調査や説明会の実施、実証実験を行い、利用方法等について検証した。長崎市立図書館において日本国内初となる公共図書館におけるディスカバリーサービスが開始され、日本国内初の音声読み上げ機能を標準装備した電子書籍貸出サービスは、42 自治体 131 館にまで広がり視覚障害を有する方々を中心に非来館型サービスとして評価を得た。

## II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2019年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位	
研究所長・センター長	細井 浩一	映像学部	教授	
運営委員	赤間 亮	文学部	教授	
	木立 雅朗	文学部	教授	
	田中 覚	情報理工学部	教授	
	田中 弘美	情報理工学部	特命教授	
	前田 亮	情報理工学部	教授	
	矢野 桂司	文学部	教授	
	湯浅 俊彦	文学部	教授	
	THAWONMAS Ruck	情報理工学部	教授	
	西林 孝浩	文学部	教授	
	八村 広三郎	情報理工学部	特任教授	
	鈴木 桂子	衣笠総合研究機構	教授	
	金子 貴昭	衣笠総合研究機構	准教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	稲葉 光行	政策科学部	教授	
	小椋 秀樹	文学部	教授	
	川越 恭二	情報理工学部	特任教授	
	島川 博光	情報理工学部	教授	
	田中 聡	文学部	教授	
	西浦 敬信	情報理工学部	教授	
	矢野 健一	文学部	教授	
	斉藤 進也	映像学部	准教授	
	古川 耕平	映像学部	准教授	
	中村 彰憲	映像学部	教授	
	河角(赤石)直美	文学部	准教授	
	三須 祐介	文学部	准教授	
	吉田 満梨	経営学部	准教授	
	長谷川 恭子	情報理工学部	助教	
	原田 智広	情報理工学部	助教	
	李 亮	情報理工学部	准教授	
学内の若手研究者	① 専門研究員・研究員	李 増先	衣笠総合研究機構	専門研究員
		BATJARGAL Biligsaikhan	衣笠総合研究機構	専門研究員
		山路 正憲	衣笠総合研究機構	研究員
	② リサーチアシスタント	川内 有子	衣笠総合研究機構	リサーチアシスタント
		佐藤 弘隆	衣笠総合研究機構	リサーチアシスタント
		常木 佳奈	衣笠総合研究機構	リサーチアシスタント
	③ 大学院生	TOTHILL Vanessa	文学研究科	D6
大塩 祥剛		情報理工学研究科	D3	

	SONG Yuting	情報理工学研究科	D3
	PALIYAWAN Pujana	情報理工学研究科	D3
	WEI Zhenao	情報理工学研究科	D1
	WANG Jiayun	情報理工学研究科	D1
	KAI Chengkai	情報理工学研究科	D1
	SHIN Juhyung	先端総合学術研究科	一貫性博士課程院生
	JIANG Yehang	先端総合学術研究科	一貫性博士課程院生
	XU Ting	先端総合学術研究科	一貫性博士課程院生
	枝木 妙子	先端総合学術研究科	一貫性博士課程院生
	永井 彩子	文学研究科	M3
	伊藤 祐希	文学研究科	M3
	毛利 仁美	文学研究科	M2
	向井 淳子	文学研究科	M2
	GUO Hao	文学研究科	M2
	李 瑞佳	文学研究科	M2
	中村 航希	情報理工学研究科	M2
	Xiong Lilang	情報理工学研究科	M2
	永田 広樹	情報理工学研究科	M2
	野田 幸裕	情報理工学研究科	M2
	伊藤 卓	情報理工学研究科	M2
	LI Kangying	情報理工学研究科	M2
	宮崎 沙帆	文学研究科	M1
	中井 陽一	情報理工学研究科	M1
	LI Zhengxi	文学研究科	M1
	潘 姣	情報理工学研究科	M1
	西村 京馬	情報理工学研究科	M1
	岸本 征将	情報理工学研究科	M1
	④ 日本学術振興会特別 研究員(PD・RPD)		
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究 生、研修生等)	竹内 千代子	文学部	非常勤講師
	山本 真紗子	文学部	非常勤講師
	青山 いずみ	文学研究科	研修生
客員協力研究員	金田 章裕	衣笠総合研究機構	特別研究フェロー
	石上 阿希	衣笠総合研究機構	客員研究員
	佐古 愛己	衣笠総合研究機構	客員研究員
	高須 奈都子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	谷 昇	衣笠総合研究機構	客員研究員
	木村 文則	衣笠総合研究機構	客員研究員
	鹿内 菜穂	衣笠総合研究機構	客員研究員
	脇田 航	衣笠総合研究機構	客員研究員
	大矢 敦子	衣笠総合研究機構	客員研究員

	河原 大	衣笠総合研究機構	客員研究員
	瀬戸 寿一	衣笠総合研究機構	客員研究員
	高橋 幸恵	衣笠総合研究機構	客員研究員
	塚本 章宏	衣笠総合研究機構	客員研究員
	土田 勝	衣笠総合研究機構	客員研究員
	松岡 恵悟	衣笠総合研究機構	客員研究員
	磯田 弦	衣笠総合研究機構	客員研究員
	本多 健一	衣笠総合研究機構	客員研究員
	飯塚 隆藤	衣笠総合研究機構	客員研究員
	井上 学	衣笠総合研究機構	客員研究員
	岩切 友里子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	大西 秀紀	衣笠総合研究機構	客員研究員
	岡本 隆明	衣笠総合研究機構	客員研究員
	亀田 和子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	倉橋 正恵	衣笠総合研究機構	客員研究員
	松本 節子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	CLARK Timothy Thorburn	衣笠総合研究機構	客員研究員
	MARCEAU Lawrence Edward	衣笠総合研究機構	客員研究員
	PELLECCHIA Diego	衣笠総合研究機構	客員研究員
	TINIOS Ellis	衣笠総合研究機構	客員研究員
	富田 美香	衣笠総合研究機構	客員研究員
	中村 恵美	衣笠総合研究機構	客員研究員
	矢野 明子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	前崎 信也	衣笠総合研究機構	客員研究員
	HAFT Alfred	衣笠総合研究機構	客員研究員
	HONCOOPOVA, Helena	衣笠総合研究機構	客員研究員
	山口 欧志	衣笠総合研究機構	客員研究員
	RESIG John	衣笠総合研究機構	客員研究員
	MIKES Marek	衣笠総合研究機構	客員研究員
	HUBER Brigitte	衣笠総合研究機構	客員研究員
	加茂 瑞穂	衣笠総合研究機構	客員研究員
	PHILLIPS Quitman Eugene	衣笠総合研究機構	客員研究員
	VESCO Silvia	衣笠総合研究機構	客員研究員
	YOO Jennifer	衣笠総合研究機構	客員研究員
	丸川 雄三	衣笠総合研究機構	客員研究員
	細井 尚子	衣笠総合研究機構	客員研究員

	BINCSIK Monika	衣笠総合研究機構	客員研究員
	松葉 涼子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	彬子女王	衣笠総合研究機構	客員研究員
	JESZENSZKY Peter	衣笠総合研究機構	客員研究員
	RYNDOVA Jana	衣笠総合研究機構	客員研究員
	舘野 まりみ	衣笠総合研究機構	客員研究員
	KUHN Michelle	衣笠総合研究機構	客員研究員
	村田 隆志	衣笠総合研究機構	客員研究員
	上田 文	衣笠総合研究機構	客員研究員
	武藤 祥子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	井川 繭子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	原田 真澄	衣笠総合研究機構	客員研究員
	武田 寿恵	衣笠総合研究機構	客員研究員
	岩井 眞實	衣笠総合研究機構	客員研究員
	相田 敏明	衣笠総合研究機構	客員研究員
	相田 愛子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	小林 知美	衣笠総合研究機構	客員研究員
	玉田 浩之	衣笠総合研究機構	客員研究員
	佐藤 洋一	衣笠総合研究機構	客員研究員
	朝日 智雄	衣笠総合研究機構	客員研究員
	MARRA Toshie	衣笠総合研究機構	客員研究員
その他の学外者	田中 士郎		研究員
	植村 要	株式会社図書館総合研究所	特別顧問
	福田 一史	日本教育財団大学設置準備室	室員
	井上 明人	同志社女子大学	非常勤講師
	岡本 篤志	大手前大学	助教
研究所・センター構成員	計 138 名	(うち学内の若手研究者 計 35 名)	

### Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2019年3月31日時点)  
また、別紙「研究所重点プロジェクト実績報告書様式」の研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

#### 1. 著書

No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	細井浩一	ゲーム学の新時代 遊戯の原理 AI の野生 拡張するリアリティ	共著	2019年3月	NTT出版	中沢新一、中川大地、遠藤雅伸、井上明人、松永伸司、小林信重、川口洋司、ルドン・ジョゼフ、ルドン絢子、徳岡正肇、田中治久、水野勇太、福地健太郎、三宅陽一郎、犬飼博士	pp. 87-108
2	細井浩一	日本研究をひらく～「国際日本研究」コンソーシアム記録集 2018	共著	2019年3月	晃洋書房	坪井秀人・白石恵理・小田龍哉（編）	pp. 119-131, 156-163
3	鈴木桂子	"Kimono Culture in Twentieth-Century Global Circulation: Kimonos, Aloha Shirts, Suka-jan, and Happy Coats" in <i>Linking Cloth/Clothing Globally, Transformations of Use and Value, c. 1700-2000</i>	単著	2019年3月	法政大学比較経済研究所、ICES Series of Studies in International Economy, vol. 1.	Miki Sugiura（編者）	pp. 272-298
4	田中覚	Methods and Applications for Modeling and Simulation of Complex Systems (18th Asia Simulation Conference, AsiaSim 2018, Kyoto, Japan, October 27-29, 2018, Proceedings, Springer CCIS 946)	共著	2018年10月	Springer Nature Singapore	Liang Li, Kyoko Hasegawa	
5	河角直美	長谷川家所蔵「京都市明細図」を読む	単著	2019年2月	風媒社、『地図で楽しむ京都の近代』	上杉和央・加藤政洋編著	pp. 22-29
6	河角直美	京都府立京都学・歴史館所蔵「京都市明細図」を読む	単著	2019年2月	風媒社、『地図で楽しむ京都の近代』	上杉和央・加藤政洋編著	pp. 30-35
7	河角直美	「京都市明細図」占領期の京都	単著	2019年2月	風媒社、『地図で楽しむ京都の近代』	上杉和央・加藤政洋編著	pp. 36-45
8	河角直美	「京都市明細図」と災害の歴史	単著	2019年2月	風媒社、『地図で楽しむ京都の近代』	上杉和央・加藤政洋編著	pp. 100-105
9	西浦敬信	遮音・吸音材料の開発、評価と騒音低減技術	単著	2018年7月	(株)技術情報協会		

10	李亮	Methods and Applications for Modeling and Simulation of Complex Systems, 18th Asia Simulation Conference, AsiaSim 2018, Kyoto, Japan, October 27-29, 2018, Proceedings	共著	2018年10月	Springer	Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka	pp. 1-586
11	川嶋將生	清水寺 成就院日記第4巻	共同校訂	2019年3月	法蔵館	下坂守他9名	pp. 3-404
12	BATJARGAL Biligsaikhan	Cross-Lingual and Cross-Chronological Information Access to Multilingual Historical Documents. In <i>Samny Beban Chumbow, Editor, Multilingualism and Bilingualism</i>	分担執筆	2018年5月	IntechOpen		pp. 143-161
13	相田愛子	播磨の国宝	共著	2018年9月	神戸新聞総合出版センター	埴岡真弓、岩田茂樹、小林達朗、黒田龍二、問屋真一、吉田実盛、中元孝迪、田中康弘	pp. 5-38
14	飯塚隆藤	地域研究のための空間データ分析入門	共著	2019年3月	古今書院	蔣湧・湯川治敏・駒木伸比古・飯塚隆藤・村山徹・小川勇樹	pp. 42-53
15	岩井眞實	芝居小屋から—武田政子の博多演劇史—	共著	2018年6月	海鳥社	狩野啓子	全244頁担当
16	上田文	水曜会をめぐる考察—竹内栖鳳塾における明治30年代後半の新動向	共著	2019年3月	思文閣出版	並木誠士編	pp. 155-188
17	加茂瑞穂	掌のなかの図案—近代京と染織図案 II	共著	2018年10月	京都工芸繊維大学美術工芸資料館	岡達也	pp. 1-24
18	加茂瑞穂	明治期京都における染色デザインの展開	単著	2019年3月	思文閣出版、『近代京都の美術工芸：制作・流通・観賞』		pp. 351-372
19	竹内千代子	堀秦夫句稿『秦夫草』翻刻と南山城の俳諧	単著	2018年2月	私家版、印刷 昭栄社		pp. 1-99
20	竹内千代子	野風呂記念館本『古巢発句集』影印 翻刻と改題	単著	2018年3月	私家版、印刷 昭栄社		pp. 1-116
21	谷昇	大山喬平・三枝暁子編『古代・中世の地域社会—「ムラの戸籍簿」の可能性』	共著	2018年9月	思文閣出版	多数	pp. 273-301
22	中村恵美	八代目市川団十郎画像資料集 III	単著	2019年2月	自費出版		

23	村田隆志	【招待】村田隆志監修 『(山) 長谷川コレクション 日本美術の名品—江戸から明治まで—』	共著	2018年12月	山形美術館	白幡菜穂子	全96頁中52頁
24	山本真紗子	『MADE IN JAPAN 日本の匠:世界に誇る日本の伝統工芸』	共著	2018年10月	IBCパブリッシング	前崎信也	
25	MARCEAU Laurence	<i>Crisis and Disaster in Japan and New Zealand: Actors, Victims and Ramifications</i>	共著	2018年8月	Palgrave Macmillan	Susan Bouterey	pp. 1-11, 13-21
26	赤間亮	本当は怖い浮世絵 DVDブック	編著	2019年3月	朝日新聞出版		
27	稲葉光行	質的心理学事典	共著	2018年11月	新曜社	能智 正博(編集代表)、 香川 秀太・川島 大輔・ サトウ タツヤ・柴山 真琴・鈴木 聡志・藤江 康彦(編)	pp. 6-7, 116, 296-297
28	PELLECCHIA Diego	Time in Noh Theatre Performance and Training	単著	2019年2月	Routledge		
29	PELLECCHIA Diego	リチャード・エマート著 『The Guide to Noh of the National Noh Theatre : Play Summaries of the Traditional Repertory』 vol.1~6	単著	2018年5月	能と狂言		16号
30	倉橋正恵	未翻刻戯曲集 25 木下曾 我恵口路	共著	2019年3月	日本芸術文化振興会、国立 劇場調査養成部編	岩井眞實・埋忠美沙・ 佐藤かつら・寺田詩麻・ 日置貴之	pp. 131-162
31	倉橋正恵	歌舞伎評判記集成 第三 期 第二巻	共著	2019年2月	和泉書院、役者評判記刊行 会編	黒石陽子・水田かや乃・ 野口隆・齊藤千恵・光 延真哉・池山晃・佐藤 かつら・田草川みずき・ 神楽岡幼子	pp. 113-159 、 pp. 491-492 、 pp. 445-486 、 pp. 499-500

## 2. 論文

No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共 著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有 無
1	細井浩一	Research on the User's Demands on Information of VideoGame Resources for Subject Access	共著	2018年8 月	Proceedings of Replaying Japan 2018	Hitomi Mohri, Kazufumi Fukuda	pp. 37-38	

2	細井浩一	主題付与方針の提案に向けたビデオゲームの利用者要求に関する研究～質問応答サイトの計量テキスト分析	共著	2019年3月	Replaying Japan(1号)	毛利仁美、福田一史	pp. 118-135	
3	前田亮	Creating A Digital Edition Of Ancient Mongolian Historical Documents	共著	2018年6月	Conference Abstracts of Digital Humanities 2018	Biligsaikhan Batjargal, Garmaabazar Khaltarkhuu	pp. 534-536	
4	前田亮	Question Answering System of Management Philosophy based on Lecture Transcripts of Business Leaders	共著	2018年11月	Poster Proceedings of the 20th International Conference on Asia - Pacific Digital Libraries (ICADL2018)	Hiroataka Mishina, Atsushi Aoyama	(2 pages)	
5	前田亮	Ownership Stamp Character Recognition System Based on Ancient Character Typeface	共著	2018年11月	Proceedings of the 20th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL2018)	Kangying Li, Biligsaikhan Batjargal	pp. 328-332	
6	前田亮	A Recommender System in Ukiyo-e Digital Archive for Japanese Art Novices	共著	2018年11月	Proceedings of the 20th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL2018)	Jiayun Wang, Biligsaikhan Batjargal and Kyoji Kawagoe	pp. 205-209	
7	前田亮	Cross-Language Record Linkage based on Semantic Matching of Metadata	共著	2019年3月	日本データベース学会英文論文誌(17巻1号)	Yuting Song, Biligsaikhan Batjargal	pp. 1-8	
8	前田亮	Non-factoid Question Answering System of Management Philosophy based on Lecture Transcripts and Writings of a Business Leader	共著	2019年3月	Proceedings of the International MultiConference of Engineers and Computer Scientists 2019 (IMECS2019)	Hiroataka Mishina, Atsushi Aoyama	pp. 31-34	

9	前田亮	Twitter User's Interest Detection by Using Followee Information Based on LDA Topic Model	共著	2019年3月	Proceedings of the International MultiConference of Engineers and Computer Scientists 2019 (IMECS2019)	Yu Wang	pp. 40-44	
10	矢野桂司	Uncovering inequality through multifractality of land prices: 1912 and contemporary Kyoto.	共著	2018年4月	PLoS ONE(13巻4号)	Salat H, Murcio R, Arcaute E		
11	矢野桂司	ジオデモグラフィクスからみた教育水準の学校間格差の評価: 大阪市を事例として	共著	2018年5月	人文地理(70巻2号)	上杉昌也	pp. 253-271	
12	矢野桂司	学会展望「数理・計量・地理情報」	単著	2018年11月	人文地理(70巻3号)		pp. 374-377	
13	矢野桂司	英国の地図事情	単著	2018年12月	地理(63巻2018号)		pp. 18-25	
14	矢野桂司	京町家の空き家の現状と課題	共著	2019年3月	統計(70巻2号)	佐藤弘隆 (2019)、	pp. 9-15	
15	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第十三回(昭和十九年八月七日から八月二十九日)	共著	2018年4月	京鹿子(1124号)	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp. 20-30	
16	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第十四回(昭和十九年八月三十日から九月二十五日)	共著	2018年5月	京鹿子(1125号)	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp. 16-29	
17	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第十五回(昭和十九年九月二十六日から十月二十七日)	共著	2018年6月	京鹿子(1126号)	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp. 13-27	
18	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第十六回(昭和十九年十月二十八日から十一月十九日)	共著	2018年8月	京鹿子(1128号)	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp. 13-28	

19	金子貴昭	Hairs in old books isotopically reconstruct the eating habits of early modern Japan	共著	2018年8月	Scientific Reports(8:12152号)	Atsushi Maruyama, Jun'ichiro Takemura, Hayato Sawada, Yukihiro Kohmatsu & Atsushi Iriguchi		
20	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第十七回(昭和十九年十一月二十日から十二月三日)	共著	2018年9月	京鹿子(1129号)	小林孔、金子貴昭、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp. 21-26	
21	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第十八回(昭和十九年十二月四日から二十年一月五日)	共著	2018年10月	京鹿子(1130号)	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp. 16-29	
22	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第十九回(昭和二十年一月六日から二月四日)	共著	2018年11月	京鹿子(1131号)	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp. 14-25	
23	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第二十回(昭和二十年二月五日から三月四日)	共著	2018年12月	京鹿子(1132号)	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp. 14-24	
24	金子貴昭	研究ツール創出を目的としたデータベース構築—立命館大学アート・リサーチセンター「板木ポータルデータベース」を中心に—	単著	2019年1月	日本歴史(848号)		pp. 27-33	
25	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第二十一回(昭和二十年三月五日から三月二十二日)	共著	2019年2月	京鹿子(1134号)	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp. 22-28	
26	金子貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第二十二回(昭和二十年三月二十三日から四月十日)	共著	2019年3月	京鹿子(1135号)	小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp. 17-25	
27	金子貴昭	『奥細道菅菰抄』の板株再考	単著	2019年3月	俳文学研究		pp. 2-3	

28	田中覚	Quantitative evaluation of perceived depth of transparently-visualized medical 3D data presented with a multi-view 3D display	共著	2018年4月	Int. J. Model. Simul. Sci. Comput. Vol. 9, No. 3, (9卷3号)	Yuichi Sakano, Yurina Kitaura, Kyoko Hasegawa, Roberto Lopez-Gulliver, Liang Li, Hiroshi Ando	1840009 (16 pages)	
29	田中覚	Application of Stochastic Point-Based Rendering to Laser-Scanned Point Clouds of Various Cultural Heritage Objects	共著	2018年5月	Int. J. of Automation Technology(12卷3号)	Kyoko Hasegawa, Liang Li, Naoya Okamoto, Shu Yanai, Hiroshi Yamaguchi, Atsushi Okamoto	pp. 348-355	
30	田中覚	Transparent Fused Visualization of Surface and Volume based on Iso-surface Highlighting	共著	2018年6月	KES-IIMSS-18 2018: Intelligent Interactive Multimedia Systems and Services, Springer SIST Series(Springer SIST 98卷)	Miwa Miyawaki, Kyoko Hasegawa, Liang Li	pp. 267-276	
31	田中覚	Ocean Analysis by Tsunami Simulation of the Nankai Trough Massive Earthquake	共著	2018年10月	Proc. 18th Asia Simulation Conference 2018, Kyoto, Japan, Sep. Aug. 27-29 (Sep. 27), 2018; Springer CCIS Series 946(Springer CCIS 946 卷)	Yuto Sakae, Ikuya Morimoto, Takuya Ozaki, Ryo Kurimoto, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Satoshi Nakada	pp. 488-500	
32	田中覚	Feature-Highlighting Transparent Visualization of Laser-Scanned Point Clouds Based on Curvature-Dependent Poisson Disk Sampling	共著	2018年10月	Proc. 18th Asia Simulation Conference 2018, Kyoto, Japan, Sep. Aug. 27-29 (Sep. 27), 2018; Springer CCIS Series 946(Springer CCIS 946 卷)	Yukihiro Noda, Shu Yana, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Atsushi Okamoto, Hiroshi Yamaguchi	pp. 524-538	
33	西林孝浩	曹仲達絵画様式の復元	単著	2018年10月	立命館言語文化研究, 30 卷, 1号		pp. 129-160	
34	THAWONMAS Ruck	Blow Up Depression with In-Game TNTs	共著	2018年10月	Proc. of the 7th IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2018), Nara, Japan	Changeun Yang, Pujana Paliyawan, Tomohiro Harada	pp. 786-787	
35	THAWONMAS Ruck	An Analysis of Fighting Game AIs	共著	2018年10月	Proc. of the 7th IEEE Global Conference on	Ryota Ishii, Suguru Ito and Tomohiro	pp. 558-559	

		Having a Persona			Consumer Electronics (GCCE 2018), Nara, Japan	Harada		
36	THAWONMAS Ruck	An Object Matrix Input Format for a Deep AI in Angry Birds and the Like	共著	2018年10 月	Proc. of the 7th IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2018), Nara, Japan	Yuntian Ma, Enzhi Zhang, Koki Tsujino, Tomohiro Harada	pp. 564-566	
37	THAWONMAS Ruck	Utilizing Multiple Agents for Decision Making in a Fighting Game	共著	2018年10 月	Proc. of the 7th IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2018), Nara, Japan	Yoshina Takano, Suguru Ito, Tomohiro Harada, Ruck Thawonmas	pp. 562-563	
38	THAWONMAS Ruck	An Angry Birds- like Game System for Promoting Players' Emotion	共著	2018年10 月	Proc. of the 7th IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2018), Nara, Japan	Jingdi Xu, Changeun Yang, Yuuki Okido, Pujana Paliyawan and Tomohiro Harada	pp. 128-129	
39	THAWONMAS Ruck	An Audience Participation Angry Birds Platform for Social Well-Being	共著	2018年9 年	Proc. of the 18th International Conference on Intelligent Games and Simulation (GAME-ON' 2018), Dundee, UK	Yuxuan Jiang, Pujana Paliyawan and Tomohiro Harada	pp. 116-120	
40	THAWONMAS Ruck	木構造類似度を用 いる多峰性遺伝的 プログラミング	共著	2018年8 月	計測自動制御学会論文誌, 54 巻, 8号	吉田 修武, 原田 智弘	pp. 640-649	
41	THAWONMAS Ruck	Applying Hybrid Reward Architecture to a Fighting Game AI	共著	2018年8 月	Proc. of 2018 IEEE Conference on Computational Intelligence and Games (CIG 2018), Maastricht, The Netherlands	Yoshina Takano, Wenwen Ouyang, Suguru Ito, Tomohiro Harada	pp. 433-436	
42	THAWONMAS Ruck	Monte-Carlo Tree Search Implementation of Fighting Game AIs Having Personas	共著	2018年8 月	Proc. of 2018 IEEE Conference on Computational Intelligence and Games (CIG 2018), Maastricht, The Netherlands	Ryota Ishii, Suguru Ito, Makoto Ishihara, Tomohiro Harada	pp. 54-61	
43	THAWONMAS Ruck	Monte - Carlo Tree Search for Implementation of Dynamic Difficulty Adjustment Fighting Game AIs Having Believable Behaviors	共著	2018年8 月	Proc. of 2018 IEEE Conference on Computational Intelligence and Games (CIG 2018), Maastricht, The Netherlands	Makoto Ishihara, Suguru Ito, Ryota Ishii, Tomohiro Harada	pp. 46-53	
44	THAWONMAS	Validation of	共著	2018年6	2018 NICOGRAPH	Lilang Xiong, Zhenao	pp. 81	

	Ruck	Deep Features Using the 1-NN Algorithm for Image Similarity Computation		月	International, Tainan, Taiwan	Wei, Wenwen Ouyang, Tomohiro Harada, Keiko Suzuki, and Masaaki Kidachi		
45	THAWONMAS Ruck	Smile with Angry Birds: Two Smile-Interface Implementations	共著	2018 年 6 月	2018 NICOGRAPH International, Tainan, Taiwan	Changeun Yang, Yuxuan Jiang, Pujana Paliyawan, Tomohiro Harada	pp. 80	
46	齋藤進也	「コミュニティ・ゲーム」のための情報基盤の構築とその運用 —地域情報で創る次世代エンターテインメント—	単著	2019 年 3 月	立命館大学地域情報研究所, 地域情報研究, 8 巻		pp. 36-50	
47	齋藤進也	VRタイムライン・システム「縁起空間」の設計と社会実装ビジョン —アーカイブの可視化からエンターテインメント活用まで—	単著	2019 年 3 月	立命館大学アート・リサーチセンター, 19 巻		pp. 41-50	
48	齋藤進也	データ閲覧支援のためのターンテーブル型 UI の開発 —「ゲーミングビジュアルライゼーション」の観点から—	共著	2019 年 3 月	立命館大学ゲーム研究センター, Replauying Japan, 1 巻	福田一史、飯田和敏	pp. 136-143	
49	齋藤進也	質的データの可視化支援ツール「NARREX」の開発 —KJ法経由のTEMとそれをサポートする方法について—	共著	2019 年 1 月	立命館人間科学研究 第 38 号	安田裕子、隅本雅友、菅井育子、サトウタツヤ	pp. 111-119	
50	河角直美	近代京都における土地利用と地形環境	単著	2019 年 3 月	雄山閣、環太平洋文明研究、3	朱雀花子	pp. 91-101	
51	河角直美	デジタルアーカイブ写真を活用した景観理解支援システムの研究—京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例として—	共著	2018 年 11 月	日本建築学会、建築教育研究論文報告集、N018	高橋彰、山本峻平、佐藤弘隆、井上学、矢野桂司、北本朝展	pp. 35-41	

52	島川博光	Stimulating Interests in Traditional Culture Using Guide Avatar Narrating Story in VR Space	共著	2018年8月	Advances in Computing, 2018; 8(1)	Keisuke Katsura, Fumiko harada	pp.1-9	
53	西浦敬信	Sound Image Reproduction based on Weighted Room Impulse Responses with Head-enclosed Back-surround Loudspeaker-array	共著	2018年7月	Journal of Signal Processing, Vol. 22, No. 4.	Misaki Otsuka, Yukoh Wakabayashi, Takahiro Fukumori, Masato Nakayama	pp.193-197	
54	長谷川恭子	Application of Stochastic Point-Based Rendering to Laser-Scanned Point Clouds of Various Cultural Heritage Objects	共著	2018年5月	Int. J. of Automation Technology	Liang Li, Naoya Okamoto, Shu Yanai, Hiroshi Yamaguchi, Atsushi Okamoto, and Satoshi Tanaka	pp.348-355	
55	長谷川恭子	Quantitative evaluation of perceived depth of transparently-visualized medical 3D data presented with a multi-view 3D display	共著	2018年4月	Int. J. Model. Simul. Sci. Comput.	Yuichi Sakano, Yurina Kitaura, Roberto Lopez-Gulliver, Liang Li, Hiroshi Ando, Satoshi Tanaka	1840009 (16 pages)	
56	古川耕平	Digital Renovation and Archives of Japanese Ancient Ritual Performance at the World Cultural Heritage	共著	2018年8月	International Conference on Geometry and Graphics, 809	Kazuya Kojima, and Kozaburo Hachimura	pp.1958 - 1971	
57	李亮	Quantitative evaluation of perceived depth of transparently-visualized medical 3D data presented with a	共著	2018年4月	International Journal of Modeling, Simulation, and Scientific Computing, Vol. 9, No. 3, 1840009	Yuichi Sakano, Yurina Kitaura, Kyoko Hasegawa, Roberto Lopez-Gulliver, Hiroshi Ando, Satoshi Tanaka	pp.1-16	

		multi-view 3D display						
58	李亮	Digital Museums of Cultural Heritages	共著	2018年4月	Communications of the CCF, vol. 14, no. 4	Kyoko Hasegawa, and Satoshi Tanaka	pp. 24-30	
59	李亮	Application of Stochastic Point-Based Rendering to Laser-Scanned Point Clouds of Various Cultural Heritage Objects	共著	2018年5月	Int. J. of Automation Technology Vol.12(3)3	Kyoko Hasegawa, Naoya Okamoto, Shu Yanai, Hiroshi Yamaguchi, Atsushi Okamoto, and Satoshi Tanaka	pp. 348-355	
60	李亮	Development of a quantitative evaluation system for visuo-motor control in three-dimensional virtual reality space	共著	2018年9月	Scientific Reports, volume 8, Article number: 13439	W. Choi, J. Lee, N. Yanagihara, and J. Kim	pp. 1-9	
61	李亮	Assessment Model for Perceived Visual Complexity of Painting Images	共著	2018年11月	Knowledge-Based Systems	X. Y. Guo, Y. H. Qian, and A Asano	pp. 110-119	
62	川嶋將生	河原者の結縁史料—新発見の像内納入文書の紹介—	单著	2018年7月	世界人権問題研究センター「研究紀要」23号		pp. 409-423	
63	金田章裕	近代地図への道程—『石黒図』と『輯製 20 万分の1地勢図』	单著	2018年10月	(一財)日本地図センター『地図中心』553号		pp. 3-5	
64	金田章裕	Nature of Old Maps: As Primary Source Materials for Historical Geography	单著	2018年12月	Earth Sciences, 7(6)		pp. 260-267	
65	金田章裕	和食の文化的景観	单著	2019年2月	『和食文化研究』創刊号		pp. 2-17	
66	李增先	TEI Metadata for Japanese Materials in the Cambridge University Library and How to Apply TEI for	单著	2018年9月	Center for Evolving Humanities, Graduate School of Humanities and Sociology, The university of Tokyo, TEI 2018: TEI as a Global Language, Vol 2018, pp. 273		pp. 273	

		Higher Education						
67	BATJARGAL Biligsaikhan	Cross-Language Record Linkage based on Semantic Matching of Metadata	共著	2019年3 月	日本データベース学会英文論 文誌 (DBSJ Journal), 17 卷 1 号	Yuting SONG, Akira MAEDA	pp1-18	
68	常木佳奈	近代木版口絵の制 作過程とその体制： 朝日コレクション のデジタル化プロ ジェクトを通して	单著	2018年3 月	アート・リサーチ (19)		pp. 3-14	
69	相田敏明	Covariance Matrix of a Probability Distribution for Image Dictionaries in Compressed Sensing	单著	2018年10 月	Proceedings of 2018 18th International Conference on Control, Automation and Systems (ICCAS2018)		pp. 829832	
70	相田敏明	Bayesian Approach to the Classification of BMI Time Series Data from Babyhood to Junior High School Age of Japanese Children	共著	2019年3 月	Proceedings of 2019 4th International Conference on Big Data Analytics (ICBDA2019)	Chiyori Haga	pp. 21-25	
71	飯塚隆藤	航空写真を用いた 船舶GIS データベー スの構築とその分 析—淀川中流域を 事例として—	单著	2019年3 月	愛知大学地域政策学部地域政 策学センター、『地域政策学ジ ャーナル』第8巻 (第1号第 2号合併号)		pp. 9-24	
72	飯塚隆藤	三遠南信地域にお ける歴史GIS データ ベースの構築	单著	2019年3 月	愛知大学三遠南信地域連携研 究センター『越境地域政策研 究論集』		pp. 593-602	
73	岩井眞實	見得の発生に関す る論点整理—擬勢 から見得へ—	单著	2018年10 月	藝能史研究 223号		pp. 16-30	
74	大西秀紀	楽語荘発行のレコ ード	单著	2018年6 月	大阪府立上方演芸資料館、平 成29年度年報	荻田清	pp. 21-24	
75	岡本隆明	進化する東寺百合 文書WEB 戦略—日本 史史料のオープン 化への提言—	单著	2019年1 月	吉川弘文館, 日本歴史, 第848 号		pp. 21-27	
76	竹内千代子	花屋庵鼎左の点帖 と備後	单著	2018年10 月	京都俳文学研究会, 俳文学研 究, 第70号		pp. 14-15	

77	村田隆志	「近代南画と「地方」の視座—「日本南画名作展」と『日本南画人小伝』をめぐって—」	单著	2018年5月	美術フォーラム 21 刊行会、 『美術フォーラム 21』第 37 号		pp. 20-25	
78	村田隆志	「琳派の書画表現と毛筆の影響—光悦・宗達用の筆の問題を中心に—」	单著	2018年9月	筆の里工房『筆が奏でる琳派の美』		pp. 136-143	
79	村田隆志	「現代における南画制作の意義」	单著	2019年3月	頼山陽記念文化財団、『平成30年度 全国公募 南画精華展』		pp. 32	
80	山本真紗子	“Innovative Trading Strategies for Japanese Art: Ikeda Seisuke, Yamanaka & Co. and their Overseas Branches (1870s-1930s)” ,	单著	2018年12月	Bénédicte Savoy, Charlotte Guichard, and Christine Howald (Ed.), <i>Acquiring Cultures: Histories of World Art on Western Markets</i> , Berlin: De Gruyter,		pp. 223-238	
81	山本真紗子	「美術貿易黎明期の京都とロンドン—美術商池田清助とトーマス・J・ラーキン」	单著	2019年3月	『近代京都の美術工芸—制作・流通・鑑賞』思文閣出版、	並木誠士編	pp. 271-292	
82	脇田航	S N R 変動を考慮したパラメータが連続的に変動するシステムの予測法	共著	2018年9月	電気学会論文誌 C, Vol. 138, No. 9	小林康秀, 齊藤充行, 網本勇樹, 脇田航	pp. 1075-1081	
83	MARCEAU Laurence	書評 : David J. Gundry 著 <i>Parody, Irony and Ideology in the Fiction of Ihara Saikaku</i>	单著	2019年3月	<i>Journal of Japanese Studies</i> , Vol. 45, No. 1		pp. 227-231	
84	塚本章宏	刊行図に描かれた近世大坂の構図と歪みの分析	单著	2018年10月	地理情報システム学会講演論文集, 27 卷			
85	塚本章宏	The examination of Gauguin's color preference	共著	2018年10月	地理情報システム学会講演論文集, 27 卷	服部恒太, 田中佳		
86	木立雅朗	京式登り窯の築窯・修復・改造	共著	2018年5月	やきもの つくる・うごく・つかう		pp. 70-83	
87	木立雅朗	小規模美術館が所蔵する作品のデジ	共著	2019年2月	生活造形	前崎信也・藤平三穂・阿部亜紀・北野奈々	64 号	

		タル化-藤平伸記念館を例に-						
88	木立雅朗	河井寛次郎と京焼の生産システム-登り窯を「受け継ぐ」意味-	共著	2019年3月	近代京都の美術工芸-制作・流通・鑑賞-		pp. 93-123	
89	稲葉光行	Constructing Multicultural Learning Environment and Collaborative Serious Games in Metaverse	共著	2018年8月	Replaying Japan 2018 Conference Book	Juhyung SHIN, Yehang JIANG	pp. 17-19	
90	稲葉光行	Grounded text mining approach (GTxA): An integration of grounded theory and crossover mixed analyses	共著	2018年8月	MMIRA 2018 Book of Abstracts	Hisako KAKAI	pp. 94-95	
91	福田一史	主題付与方針の提案に向けたビデオゲームの利用者要求に関する研究 : 質問応答サイトの計量テキスト分析	共著	2019年3月	Replaying Japan 2018	Mohri Hitomi, Koichi Hosoi	pp. 118-135	
92	福田一史	A Development of the Metadata Model for Video Game Cataloging: For the Implementation of Media-Arts Database	共著	2018年9年8月	IFLA WLIC 2018	Tetsuya MIHARA	pp. 1-11	
93	PELLECCHIA Diego	Time in Noh Theatre Performance and Training	単著	2019年2月	Routledge			
94	PELLECCHIA Diego	『The Guide to Noh of the National Noh Theatre : Play Summaries of the Traditional Repertory』 vol. 1~6	単著	2018年5月	能と狂言		16号	

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	細井浩一	“同床異夢”か“異榻同夢”か～日本文化の資源化に関する研究と政策	2018年7月	国際ワークショップ「人文科学と社会科学の対話—国際日本研究の立場から」	
2	細井浩一	Research on the User's Demands on Information of VideoGame Resources for Subject Access	2018年8月	Replaying Japan 2018	Hitomi Mohei, Kazufumi Fukuda
3	細井浩一	日本文化資源としてのMANGAをアーカイブする～京都/関西における活動と課題	2019年3月	デジタルアーカイブ学会第3回研究大会	吉村和真、藤田健次、福田一史
4	鈴木桂子	版木と型紙：色刷りに隠れたカタチ	2018年6月	KCJS Summer Lecture, Kyoto Consortium for Japanese Studies, 京都市	Henry Smith II
5	鈴木桂子	「京都における伝統産業資料の保存と活用プロジェクト」	2018年8月	ARC Days 2018、アート・リサーチセンター	木立雅朗
6	鈴木桂子	On Digitalization of Textile and Old Books	2018年8月	Seminar and Workshop at the National Museum of Indonesia、インドネシア国立博物館、ジャカルタ市	Zengxian Li
7	鈴木桂子	Deep feature extraction based on an L2-constrained combination of center and softmax loss functions for ukiyo-e image recommendation	2018年8月	DSDAH 2018: The 1st KDD Workshop on Data Science for Digital Art History: tackling big data Challenges, Algorithms, and Systems (査読有)、ロンドン市、イギリス	Lilang Xiong, Zhenao Wei, Wenwen Ouyang, Yulin Cai, Ruck Thawonmas and Masaaki Kidachi
8	鈴木桂子	身装画像データベース〈近代日本の身装文化〉のためのターミノロジーの英語翻訳	2018年8月	身装文化デジタルアーカイブ研究会、国立民族学博物館、大阪市	
9	鈴木桂子	Rethinking Katagami Designs from a Global Perspective	2018年9月	History & Design Roundtable: Printed Textiles for West Africa. c1860-1980s. Low Countries, Scotland, Switzerland, Japan and their Global Connections、ルーヴェン大学、ルーヴェン市、ベルギー	
10	鈴木桂子	Design Dialogues: Questions on Kosode and Japone Rok's Commonalities	2018年9月	Roundtable History & Design Kosode & Banyans: Contested World Views in an Attire c1580-1910、ウォーリック大学、イギリス	
11	鈴木桂子	「2018年度研究活動報告」	2018年12月	アジア・日本研究推進プログラム 2018年度定期会合(第2回)、アート・リサ	

				ーチセンター	
12	鈴木桂子	「インドネシアの世界文化遺産をケーススタディーとしての文化財の可視化とICT時代の文理融合研究」	2019年3月	ICT 文理融合可視化小委員会（第2回）、アート・リサーチセンター	
13	鈴木桂子	「機械捺染とデザインに見る越境性」	2019年3月	消費とデザイン研究会、文京学院大学、東京都	
14	前田亮	【招待】 Management of Digital Database of Cultural Heritage	2018年8月	TOR Seminar and Workshop “Teknologi Digital Dalam Pengelolaan Warisan Budaya” (Jakarta, Indonesia)	
15	前田亮	古代文字のデジタル化とその活用の可能性	2018年9月	第五十一回 日本古文書学会大会研究発表要旨、京都府立京都学・歴史館、京都市	バトジャルガル ビルゲサイハン、李康穎
16	前田亮	古代文字フォント字形の特徴抽出に基づく蔵書印の検索支援	2018年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム、東京大学地震研究所、東京都文京区	李 康穎, Batjargal Biligsaikhan
17	前田亮	日本文化資源デジタルアーカイブへの多言語情報アクセス技術	2019年2月	「アジア芸術学」の創成 国際ワークショップ／東アジア文化研究のフロンティア、立命館大学アート・リサーチセンター、京都市	
18	前田亮	投稿に対するコメントとユーザープロフィールを用いたSNS への投稿の信憑性の推定手法の提案	2019年3月	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2019), ホテルオークラ JR ハウステンボス, 長崎市	彭 宇軒
19	前田亮	レビューの感性情報およびあらすじ中の属性情報を用いたライトノベルの分類と検索	2019年3月	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2019), ホテルオークラ JR ハウステンボス, 長崎市	Huang Yiming
20	前田亮	口コミサイトを利用した訪日外国人のためのレストラン推薦	2019年3月	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2019), ホテルオークラ JR ハウステンボス, 長崎市	南谷 悠大,
21	前田亮	浮世絵デジタルアーカイブのための分散表現による作品の関連性に基づいた推薦システム	2019年3月	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2019), ホテルオークラ JR ハウステンボス, 長崎市	王 嘉韻, Batjargal Biligsaikhan, 川越 恭二
22	前田亮	Metadata Similarity Calculation in Cross-Language Record Linkage based on Cross-lingual Embedding Models	2019年3月	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2019), ホテルオークラ JR ハウステンボス, 長崎市	Song Yuting, Batjargal Biligsaikhan
23	前田亮	トピックモデルを用いたTwitter 関連情報に基づくユーザー嗜好の推測手法の提案	2019年3月	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2019), ホテルオークラ JR ハウステンボス, 長崎市	王 宇

24	前田亮	経営哲学に関するテキストを用いたランキング型質問応答システム	2019年3月	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2019), ホテルオークラ JR ハウステンボス, 長崎市	三品 博崇, 青山 敦
25	前田亮	古代文字検索のためのフォントからの字形特徴量の抽出および活用可能性の検討	2019年3月	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2019), ホテルオークラ JR ハウステンボス, 長崎市	Li Kangying, Batjargal Biligsaikhan
26	矢野桂司	Japanese Map Warper for Japanese Old Maps: an Open Platform for Collaborative Research in the Digital Humanities	2018年8月	2018 IGU Regional Conference Quebec	Ryo Kamata
27	矢野桂司	地理情報システム (GIS) とオープンデータ—教育や自治体での活用	2018年8月	GIS day in 伊勢 2018	
28	矢野桂司	WebGIS-based Application for Comparing Rakuchū rakugai-zu Folding Screens	2018年8月	The 1st KDD Workshop on Data Science for Digital Art History: tackling big data Challenges, Algorithms, and Systems	Masaru Tsuchida, Satoshi Imamura and Masanori Yamaji
29	矢野桂司	子育て世帯の住宅選択行動に関する研究—市営住宅応募者の応募者特性—子育て世帯に対する住宅政策に関する調査研究 (その1)	2018年9月	2018年度日本建築学会大会 (東北) 学術講演会・建築デザイン発表会	中西眞弓, 生川 慶一郎, 高田光雄, 伊丹絵美子, 趙賢株, 式王美子, 河野学
30	矢野桂司	子育て世帯向け住宅において配慮すべき住宅部位別の設計内容—京都市の子育て世帯向けリノベーション住宅を例とし—子育て世帯に対する住宅政策調査研究 (その2)	2018年9月	2018年度日本建築学会大会 (東北) 学術講演会・建築デザイン発表会	河野学, 趙賢株, 高田光雄, 中西眞弓, 伊丹絵美子, 生川 慶一郎, 式王美子
31	矢野桂司	オープンデータの地理空間情報を活用した社会・学校GIS教育の展開	2018年10月	関西G空間フォーラム 2018	
32	矢野桂司	協働によるジオデザインのフレームワーク	2018年10月	公開シンポジウム「グローバル時代のデータ利用と可視化」	
33	矢野桂司	中古不動産市場における空間的波及効果	2018年10月	第27回学術研究発表大会	上杉昌也・上村要司
34	矢野桂司	京都地籍図データベースを用いた明治末期の土地所有者構造分析	2018年10月	第27回学術研究発表大会	青木和人・武田幸司
35	矢野桂司	日本版 Map Warper を用いた旧版地形図の公開	2018年10月	第27回学術研究発表大会	今村聡・鎌田遼・磯田弦・中谷友樹

36	矢野桂司	日本版 Map Warper を用いた旧版地形図の公開	2018年10月	第27回学術研究発表大会	今村聡・鎌田遼・磯田弦・中谷友樹
37	矢野桂司	京都地籍図データベースを用いた明治末期の土地所有者構造分析	2018年10月	第27回学術研究発表大会	青木和人・武田幸司
38	矢野桂司	地理教育とGIS	2019年1月	第420回例会	
39	矢野桂司	バーチャル京都から見る三条通の景観変遷	2019年1月	第42回まちカフェ	
40	矢野桂司	Geodesign in depopulation area: Yosano Town, Japan	2019年2月	International Geodesign Collaboration 2019	Kazumasa Hanaoka
41	矢野桂司	歴史GISと新しい地理教育	2019年3月	GIS day in 関西 2019	
42	矢野桂司	公開シンポジウム「地理総合」で何が変わるか	2019年3月	公開シンポジウム「地理総合」で何が変わるか	井田仁康・秋本弘章・浅川俊夫・久保純子
43	金子貴昭	明治・大正期の新聞紙の整理保存及びデジタルアーカイブの検討—立命館大学アート・リサーチセンターの事例を参考に	2018年6月	日本マス・コミュニケーション学会 2018年度春季研究発表会ワークショップ	竹内幸絵（司会者）、樋口摩彌（問題提起者）
44	金子貴昭	法帖の板木—凸版・左版・正面版— The Printing Blocks for the Calligraphy Copybooks : Relief, Intaglio and Rubbing	2018年10月	The 2018 International Association for Printing Woodblocks (IAPW) Symposium: Cultural History of Printing Woodblocks in Asia - Identification and Comparison	
45	八村広三郎	Internet-Based Interactive Transport System for Woodblock-Printed Japanese Historical Book Images	2018年9月	7th International Congress on Advanced Applied Informatics (AAAI2018)、Yonago, Japan	Panichkriangkrai Chulapong
46	八村広三郎	文化遺産の記録と再現 コトのデジタルアーカイブ	2018年12月15日	可視化情報学会	
47	八村広三郎	Digital Renovation and Archives of Japanese Ancient Ritual Performance at the World Cultural Heritage; Niutsuhime Shrine	2018年8月	18th International Conference on Geometry and Graphics,	Kohei Furukawa, Kazuya Kojima
48	田中覚	[Invited Talk] See-through Heritage Visualization based on Large-Scale Laser-scanned Point Clouds	2018年7月	ChinaVis 2018	

49	田中覚	[Invited Talk] Digital Technology in the Management of Cultural Heritage	2018年8月	TOR Seminar and Workshop	
50	田中覚	[Keynote] Visualization of Tangible Cultural Heritages based on Digitally Archived Data	2018年8月	VizAfrica 2018 Visualization Symposium, Nairobi, Kenya, Aug 20-21 (Aug 21), 2018	
51	田中覚	Visualization of tsunami simulation data using multi-dimensional transfer functions in HSVA color space	2018年8月	VizAfrica 2018 Visualization Symposium, Nairobi, Kenya, Aug 20-21 (Aug 21), 2018	Ikuya Morimoto, Satoshi Nakada, Kyoko Hasegawa, Liang Li
52	田中覚	Collision Visualization of Laser-scanned Point Clouds	2018年8月	VizAfrica 2018 Visualization Symposium, Nairobi, Kenya, Aug 20-21 (Aug 21), 2018	Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Motoaki Adach
53	田中覚	シェーダを用いた詳細度制御の実装による3次元計測点群の高速表示	2018年9月	2018年度精密工学会秋季大会, 函館アリーナ, Sep 5-7 (Sep 6), 2018	中村 航希, 長谷川恭子, 李亮, 岡本篤志
54	田中覚	3D スキャナを用いた箱庭療法の可視化	2018年9月	第46回可視化情報シンポジウム, 明治大学 駿河台キャンパス, Sep 14-16, 2018	吉沼智, 青木滉一郎, 加藤千恵子, 土田賢省, 渋谷英雄, 李亮, 長谷川恭子, 安達基朗
55	田中覚	[ベストプレゼンテーション賞] 3次元計測点群データの奥行き強調可視化 - 点線と点密度制御の活用 -	2018年9月	第46回可視化情報シンポジウム, 明治大学 駿河台キャンパス, Sep 14-16, 2018	西村京馬, 長谷川恭子, 李亮, 岡本篤志, 山口欧志, Fadjjar I. Thufail, Y. Bramantara
56	田中覚	HSV色空間における多次元伝達関数を用いた南海トラフ巨大地震の津波シミュレーション可視化	2018年9月	第46回可視化情報シンポジウム, 明治大学 駿河台キャンパス, Sep 14-16, 2018	森本行哉, 大寄拓也, 栗本凌, 中田聡史, 長谷川恭子, 李亮
57	田中覚	Highlighting Feature Regions based on See-Through Visualization of Laser-Scanned Cultural Heritage Applying Adjustment of Point Density	2018年9月	The 37th JSST Annual Conference International Conference on Simulation Technology (JSST 2018), September 18-20, Muroran Institute of Technology, Muroran City, Hokkaido, Japan	Hiroki Nagata, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Atsushi Okamoto,
58	田中覚	Extended Feature-Highlighting Methods for See-through Visualization of Laser-scanned 3D Point Clouds	2018年9月	The 37th JSST Annual Conference International Conference on Simulation Technology (JSST 2018), September 18-20, Muroran Institute of Technology, Muroran City, Hokkaido, Japan	Kyouma Nishimura, Kenta Matsuda, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Atsushi Okamoto
59	田中覚	Feature extraction of particle volume data and its application to	2018年9月	The 37th JSST Annual Conference International Conference on Simulation Technology (JSST 2018),	Masato Nakai, Kyoko Hasegawa, Liang Li

		transparent visualization		September 18-20, Muroran Institute of Technology, Muroran City, Hokkaido, Japan	
60	田中覚	Transparent visualization for dynamical analysis of tsunami in the Nankai Trough earthquake	2018年9月	The 37th JSST Annual Conference International Conference on Simulation Technology (JSST 2018), September 18-20, Muroran Institute of Technology, Muroran City, Hokkaido, Japan	Yuto Sakae, Takuya Ozaki, Ryo Kurimoto, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Satoshi Nakada
61	田中覚	Visualizing large-scale tsunami simulation using a multi-dimensional transfer function in the HSVa color space	2018年9月	The 37th JSST Annual Conference International Conference on Simulation Technology (JSST 2018), September 18-20, Muroran Institute of Technology, Muroran City, Hokkaido, Japan	Ikuya Morimoto, Satoshi Nakada, Liang Li, Kyoko Hasegawa
62	田中覚	ジェスチャ認識を利用した祇園祭・粽投げのバーチャル体験	2018年10月	第9回横幹連合コンファレンス, 電気通信大学, Oct. 6-7 (Oct. 6), 2018	岸本征将, 北直人, 長谷川恭子, 李亮
63	田中覚	[最優秀賞 (学部生の部)] レーザ計測によって取得された大規模3次元点群の自動ノイズ平滑化と高品質透視可視化	2019年3月	第2回ビジュアライゼーションワークショップ, 東京都市大学 横浜キャンパス, March 7, 2019	内田知将, 長谷川恭子, 李亮
64	田中覚	[優秀賞 (大学院生の部)] 南海トラフ巨大地震における大規模津波の数値シミュレーションに基づく塩分変動ビジュアル解析	2019年3月	第2回ビジュアライゼーションワークショップ, 東京都市大学 横浜キャンパス, March 7, 2019	森本行哉, 中田聡史, 長谷川恭子, 李亮
65	西林孝浩	東魏・北齊期における鄴城地域美術の復元	2018年4月1日	「中国美術研究会」, 京都大学, 京都市	
66	西林孝浩	中国絵画の「遠」—6~7世紀における試みと革新—	2018年5月13日	「征の会」, 京都大学, 京都市	
67	西林孝浩	初唐末期敦煌大画面変相図の意味と機能	2018年12月8日	清華大学・立命館大学 国際学術シンポジウム「东亚文化：創造と交流的軌跡」, 清華大学, 北京市	
68	THAWONMAS Ruck	Deep feature extraction based on an L2-constrained combination of center and softmax loss functions for ukiyo-e image recommendation	2018年8月	The 1st KDD Workshop on Data Science for Digital Art History: tackling big data Challenges, Algorithms, and Systems (DSDAH2018), London, UK	Lilang Xiong, Zhenao Wei, Wenwen Ouyang, Yulin Cai, Tomohiro Harada, Keiko Suzuki, and Masaaki Kidachi
69	川越恭二	浮世絵デジタルアーカイブのための分散表現による作品の関連性に基づいた推薦システム	2019年3月	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム、ホテルオークラ JR ハウステンボス、佐世保市	王 嘉韻, Batjargal Biligsaikhan, 前田亮

70	川越恭二	(招待) DBに魅せられて40年超: 企業と大学での研究・開発を経験して	2019年3月	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム、ホテルオークラ JR ハウステンボス、佐世保市	
71	川越恭二	A Recommender System in Ukiyo-e Digital Archives for Japanese Art Novices	2018年11月	ICADL2018, Univ. of Waikato, Hamilton, New Zealand	Jiayun Wang, Biligsaikhan Batjargal, Akira Maeda
72	斎藤進也	Development on the Authoring and Playable Platform Based on Omnidirectional Image Data	2018年8月	Replaying Japan 2018, The National Videogame Arcade, Nottingham, UK	渡辺修司、竹田章作、飯田和敏、奥出成希
73	斎藤進也	京都ストリート文化アーカイブの構築と発信プロジェクト	2018年8月	ARC Days 2018, 立命館大学アート・リサーチセンター, 京都	
74	河角直美	デジタルアーカイブ写真を活用した景観理解支援システムの研究ー京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例としてー	2018年11月	日本建築学会第18回建築教育シンポジウム、建築会館、東京	高橋彰、山本峻平、佐藤弘隆、井上学、矢野桂司、北本朝展
75	島川博光	Automatic Assessment of Student Understanding Level Using Virtual Reality,	2018年9月	the 2018 Federated Conference on Computer Science and Information Systems, Poznan, Poland	Shota Hashimura, Yusuke Kajiwara,
76	西浦敬信	Speech Quality Improvement with Bit-rate Extension using Spectral Gain Enhancement	2018年10月	International Symposium on Universal Acoustical Communication 2018, 東北大学, 仙台市	Haonan Wang
77	西浦敬信	HRTF Personalization Based on Pinna Shape Estimation by Standardized Scanning with Handy 3D Scanner	2018年8月	INTER-NOISE 2018, Chicago, USA.	Zhuan Zuo, Takahiro Fukumori, Masato Nakayama
78	長谷川恭子	Collision Visualization of Laser-scanned Point Clouds	2018年8月21日	VizAfrica 2018 Visualization Symposium	Weite Li, Kenya Shigeta, Liang Li, Motoaki Adachi, Satoshi Tanaka
79	長谷川恭子	シェーダを用いた詳細制御の実装による3次元計測点群の高速表示	2018年9月6日	2018年度精密工学会秋季大会	中村 航希, 李亮, 岡本篤志, 田中覚
80	長谷川恭子	3D スキャナを用いた箱庭療法の可視化	2018年9月16日	第46回可視化情報シンポジウム	吉沼智, 青木滉一郎, 加藤千恵子, 土田賢省, 渋谷英雄, 李亮, 安達基朗, 田中覚
81	長谷川恭子	3次元計測点群データの奥行き強調可視化ー点線と点密度制御の活用ー	2018年9月16日	第46回可視化情報シンポジウム	西村京馬, 李亮, 岡本篤志, 山口欧志, Fadjar I. Thufail, Y. Bramantara, 田中覚

82	長谷川恭子	Extended Feature- Highlighting Methods for See-through Visualization of Laser- scanned 3D Point Clouds	2018年9月18 日	JSST2018	Kyouma Nishimura, Kenta Matsuda, Liang Li, Atsushi Okamoto, Satoshi Tanaka
83	長谷川恭子	Highlighting Feature Regions based on See- Through Visualization of Laser-Scanned Cultural Heritage Applying Adjustment of Point Density	2018年9月18 日	JSST2018	Hiroki Nagata, Liang Li, Atsushi Okamoto, Satoshi Tanaka
84	長谷川恭子	Visualizing large-scale tsunami simulation using a multi-dimensional transfer function in the HSVA color space	2018年9月18 日	JSST2018	Ikuya Morimoto, Satoshi Nakada, Liang Li, Satoshi Tanaka
85	長谷川恭子	ジェスチャ認識を利用した 祇園祭・粽投げのバーチャ ル体験	2018年10月6 日	第9回横幹連合コンファレンス	岸本征将, 北直人, 李亮, 田中覚
86	長谷川恭子	Feature-highlighting Transparent Visualization of Laser- scanned Point Clouds based on Curvature- dependent Poisson Disk Sampling	2018年10月28 日	18th Asia Simulation Conference (AsiaSim 2018)	Yukihiro Noda, Shu Yanai, Liang Li, Atsushi Okamoto, Hiroshi Yamaguchi, Satoshi Tanaka
87	長谷川恭子	3D Reconstruction and Transparent Visualization of Indonesian Cultural Heritage from a Single Image	2018年11月14 日	The 16th EUROGRAPHICS Workshop on Graphics and Cultural Heritage (EG GCH 2018)	Jiao Pan, Liang Li, Hiroshi Yamaguchi, Fadjar I. Thufail, Bramantara, and Satoshi Tanaka
88	長谷川恭子	レーザ計測によって取得さ れた大規模3次元点群の自 動ノイズ平滑化と高品質透 視可視化	2019年3月7 日	第2回ビジュアライゼーションワークシ ョップ	内田知将, 李亮, 田中覚
89	三須祐介	まなざされる「男旦」と近 代中国のナショナル・イメ ージ	2018年6月	ワークショップ“現代中国語圏文藝に おける逸脱の表象”	
90	三須祐介	上海戯單的收集與數位資料 之建置：以新中國建國之後 的滬劇為中心	2018年11月	超越時、空與文化之數位資料庫建置與 活用：立命館大學藝術研究中心的挑戰	
91	三須祐介	戦後台湾文学は植民地時代 をどのように描写したか	2019年3月	日本植民地教育史研究会第22回研究 大会	

92	三須祐介	現代文芸作品中“男旦”形 象的呈現：以《秋海棠》為 中心	2019年3月	ストラスブール大学中文系講座	
93	三須祐介	Lin Hwai-min and Taiwanese Tongzhi Literature	2019年3月	第206回JSPS-MUFJセミナー	
94	李亮	Transparent Fused Visualization of Surface and Volume based on Iso- surface Highlighting	2018年6月	The 6th International KES Conference on Innovation in Medicine and Healthcare (KES- InMed-18),	Miwa Miyawaki, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka
95	李亮	Collision Visualization of Laser-scanned Point Clouds	2018年8月	VizAfrica 2018 Visualization Symposium, Nairobi, Kenya	Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Motoaki Adachi, Satoshi Tanaka
96	李亮	Visualization of tsunami simulation data using multi-dimensional transfer functions in HSVA color space	2018年8月	VizAfrica 2018 Visualization Symposium, Nairobi, Kenya	Ikuya Morimoto, Satoshi Nakada, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka
97	李亮	Extended Feature- Highlighting Methods for See-through Visualization of Laser- scanned 3D Point Clouds	2018年9月	The 37th JSST Annual International Conference on Simulation Technology, Muroran Institute of Technology, Muroran City, Hokkaido, Japan	Kyouma Nishimura, Kenta Matsuda, Kyoko Hasegawa, Atsushi Okamoto, Satoshi Tanaka
98	李亮	Highlighting Feature Regions based on See- Through Visualization of Laser-Scanned Cultural Heritage Applying Adjustment of Point Density	2018年9月	The 37th JSST Annual International Conference on Simulation Technology, Muroran Institute of Technology, Muroran City, Hokkaido, Japan	Hiroki Nagata, Kyoko Hasegawa, Atsushi Okamoto, Satoshi Tanaka
99	李亮	Visualizing large-scale tsunami simulation using a multi-dimensional transfer function in the HSVA color space	2018年9月	The 37th JSST Annual International Conference on Simulation Technology, Muroran Institute of Technology, Muroran City, Hokkaido, Japan	Ikuya Morimoto, Satoshi Nakada, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka
100	李亮	Transparent visualization for dynamical analysis of tsunami in the Nankai Trough earthquake	2018年9月	The 37th JSST Annual International Conference on Simulation Technology, Muroran Institute of Technology, Muroran City, Hokkaido, Japan	Yuto Sakae, Takuya Ozaki, Ryo Kurimoto, Kyoko Hasegawa, Satoshi Nakada, Satoshi Tanaka
101	李亮	Feature extraction of particle volume data and its application to transparent visualization	2018年9月	The 37th JSST Annual International Conference on Simulation Technology, Muroran Institute of Technology, Muroran City, Hokkaido, Japan	Masato Nakai, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka

102	李亮	Ocean analysis by tsunami simulation of the Nankai Trough massive earthquake	2018年10月	18th Asia Simulation Conference (AsiaSim2018), Kyoto, Japan	Yuto Sakae, Ikuya Morimoto, Takuya Ozaki, Ryo Kurimoto, Kyoko Hasegawa, Satoshi Nakada, Satoshi Tanaka
103	李亮	Feature-highlighting Transparent Visualization of Laser-scanned Point Clouds based on Curvature-dependent Poisson Disk Sampling	2018年10月	18th Asia Simulation Conference (AsiaSim2018), Kyoto, Japan	Yukihiro Noda, Shu Yanai, Kyoko Hasegawa, Atsushi Okamoto, Hiroshi Yamaguchi, Satoshi Tanaka
104	李亮	3D Reconstruction and Transparent Visualization of Indonesian Cultural Heritage from a Single Image	2018年11月	The 16th EUROGRAPHICS Workshop on Graphics and Cultural Heritage (EG GCH 2018), Vienna, Austria	Jiao Pan, Hiroshi Yamaguchi, Kyoko Hasegawa, Fadjar I. Thufail, Bramantara, and Satoshi Tanaka
105	李亮	シェーダを用いた詳細度制御の実装による3次元計測点群の高速表示	2018年9月	2018年度精密工学会秋季大会, 函館アリーナ	中村航希, 長谷川恭子, 岡本篤志, 田中覚
106	李亮	HSV色空間における多次元伝達関数を用いた南海トラフ巨大地震の津波シミュレーション可視化	2018年9月	可視化情報学会 第46回可視化情報シンポジウム, 明治大学 駿河台キャンパス	森本行哉, 大寄拓也, 栗本凌, 中田聡史, 長谷川恭子, 田中覚
107	李亮	3次元計測点群データの奥行き強調可視化“一点線と点密度制御の活用”, 可視化情報学会 第46回可視化情報シンポジウム	2018年9月	可視化情報学会 第46回可視化情報シンポジウム, 明治大学 駿河台キャンパス	西村京馬, 長谷川恭子, 岡本篤志, 山口欧志, Fadjar I. Thufail, Y. Bramantara, 田中覚
108	李亮	3D スキャナを用いた箱庭療法の可視化	2018年9月	可視化情報学会 第46回可視化情報シンポジウム, 明治大学 駿河台キャンパス	吉沼智, 青木滉一郎, 加藤千恵子, 土田賢省, 渋谷英雄, 長谷川恭子, 安達基朗, 田中覚
109	李亮	ジェスチャ認識を利用した祇園祭・粽投げのバーチャル体験	2018年10月	第9回横幹連合コンファレンス, 電気通信大学	岸本征将, 北直人, 長谷川恭子, 田中覚
110	李亮	レーザ計測によって取得された大規模3次元点群の自動ノイズ平滑化と高品質透視可視化	2019年3月	第2回ビジュアリゼーションワークショップ, 東京都市大学 横浜キャンパス	内田知将, 長谷川恭子, 田中覚
111	李亮	南海トラフ巨大地震における大規模津波の数値シミュレーションに基づく塩分変動ビジュアル解析	2019年3月	第2回ビジュアリゼーションワークショップ, 東京都市大学 横浜キャンパス	森本行哉, 中田聡史, 長谷川恭子, 田中覚
112	李増先	海外の和漢古典籍のデジタル化およびその意義	2018年12月	立命館大学日本文学会研究例会, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都市	

113	李増先	The Sino-Japanese Cultural Resources in the UK	2018年5月	ARCセミナー、立命館大学アート・リサーチセンター、京都市	
114	BATJARGAL Biligsaikhan	Creating a Digital Edition of Ancient Mongolian Historical Documents	2018年6月27日	Digital Humanities 2018, Mexico City, Mexico	Garmaabazar Khaltarkhuu, Akira Maeda
115	BATJARGAL Biligsaikhan	専門性の深化を目的とした人文系大規模データベースの構築 -ポータルデータベースと横断検索システムによる世界規模の所蔵品検索・閲覧システム-	2018年7月6日	国際シンポジウム「デジタル時代における人文学の学術基盤をめぐって」、一橋講堂中会議場、東京都	
116	BATJARGAL Biligsaikhan	伝統的モンゴル文字で書かれた歴史書類のデジタル版の作成	2018年7月11日	第52回 ARCセミナー、立命館大学アート・リサーチセンター、京都市	
117	BATJARGAL Biligsaikhan	古代文字のデジタル化とその活用の可能性	2018年9月9日	2018年度日本古文書学会大会「古文書学への招待—ひらかれる研究の窓」、京都府立京都学・歴史館大ホール、京都市	前田 亮, 李 康穎
118	BATJARGAL Biligsaikhan	Ownership Stamp Character Recognition System Based on Ancient Character Typeface	2018年11月20日	The 20th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL2018), Hamilton, New Zealand	Kangying Li, Akira Maeda
119	BATJARGAL Biligsaikhan	A Recommender System in Ukiyo-e Digital Archive for Japanese Art Novices	2018年11月20日	The 20th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL2018), Hamilton, New Zealand	Jiayun Wang, Akira Maeda, and Kyoji Kawagoe
120	BATJARGAL Biligsaikhan	古代文字フォント字形の特徴抽出に基づく蔵書印の検索支援	2018年12月2日	人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん 2018)、東京大学地震研究所、東京都	李 康穎, 前田 亮
121	BATJARGAL Biligsaikhan	Metadata Similarity Calculation in Cross-Language Record Linkage based on Cross-lingual Embedding Models	2019年3月5日	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (第17回日本データベース学会年次大会)、ホテルオークラ JR ハウステンボス、長崎県佐世保市	Yuting Son, Akira Maeda
122	BATJARGAL Biligsaikhan	古代文字検索のためのフォントからの字形特徴量の抽出および活用可能性の検討	2019年3月6日	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (第17回日本データベース学会年次大会)、ホテルオークラ JR ハウステンボス、長崎県佐世保市	李 康穎, 前田 亮
123	BATJARGAL Biligsaikhan	浮世絵デジタルアーカイブのための分散表現による作品の関連性に基づいた推薦システム	2019年3月5日	第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (第17回日本データベース学会年次大会)、ホテルオークラ JR ハウステンボス、長崎県佐世保市	王 嘉穎, 前田 亮, 川越 恭二

124	川内有子	『忠臣蔵』(“Forty-seven Ronin”)の海外普及に関する日英の新聞報道の比較	2018年6月	ARCセミナー、立命館大学	
125	川内有子	『仮名手本忠臣蔵』の英訳と外国人の歌舞伎鑑賞	2018年10月	日本英学史学会大会、大阪府教育会館 たかつガーデン	
126	川内有子	イギリスにおける二二六事件の新聞報道に見られる「忠臣蔵」への言及の検討	2019年2月	日本英学史学会月例研究会、拓殖大学	
127	常木佳奈	近代木版口絵とその二次利用の可能性	2018年5月12日	2018年度日本出版学会春季研究発表会、専修大学、千代田区	
128	常木佳奈	近代木版口絵デジタルアーカイブ構築に向けて：朝日コレクションのデジタル化プロジェクトを事例に	2018年7月11日	第52回ARCセミナー、立命館大学アート・リサーチセンター、京都市	
129	常木佳奈	近代木版口絵研究の現在と展望	2018年10月20日	第6回東アジアと同時代日本語文学フォーラム、復旦大学、上海	
130	常木佳奈	口絵にみる近代木版出版文化	2018年11月27日	ライスボールセミナー、立命館大学、京都市	
131	常木佳奈	Woodblock-printed Frontispieces (Kuchi-e prints) in Modern Japanese Literature	2019年2月12日	Introduction to Modern Japanese Literature and Culture (lecture), The University of California, Berkeley, USA	
132	相田敏明	Replica Analysis of the Performance of Compressed Sensing for Image Processing	2018年7月	International Congress of Mathematical Physics (ICMP2018), Centre Mont-Royal, Montreal	
133	相田敏明	圧縮センシングによる画像復元の解析的性能評価	2018年9月	日本物理学会 2018年秋季大会、同志社大学、京田辺市	
134	相田敏明	日本人の乳幼児期から中学生期におけるBMI時系列データのARモデルによる解析	2018年10月	平成30年度(第69回)電気・情報関連学会中国支部連合大会、広島市立大学、広島市	河原正貴, 芳我ちより
135	相田敏明	欠損データに対応可能なPCAによる日本人乳幼児期から中学生期におけるBMI時系列データの解析	2018年10月	平成30年度(第69回)電気・情報関連学会中国支部連合大会、広島市立大学、広島市	水川秀一, 芳我ちより
136	相田敏明	変分ベイズPCAによる日本人の乳幼児期から中学生期におけるBMI時系列データの主成分数の推測	2018年10月	平成30年度(第69回)電気・情報関連学会中国支部連合大会、広島市立大学、広島市	高見佳右, 芳我ちより
137	相田敏明	胃癌深達度診断のためのCNN転移学習	2018年10月	平成30年度(第69回)電気・情報関連学会中国支部連合大会、広島市立大学、広島市	指宿有哉, 河原祥朗, 岡田裕之
138	相田敏明	疎符号化を用いた画像復元の解析的性能評価	2019年3月	日本物理学会 第74回年次大会、九州大学、福岡市	

139	飯塚隆藤	【招待】淀川流域における近代河川舟運の地域的变化—歴史 GIS の手法を用いて	2018年7月	Smart and Human「淀川水系に関する総合的研究」研究会、摂南大学、寝屋川市	
139	飯塚隆藤	「鴨川古写真 GIS データベース」の構築と河川環境の変遷分析に関する研究	2018年8月	ARC Days2018、立命館大学、京都市	谷端郷・大邑潤三・佐藤弘隆・島本多敬
140	飯塚隆藤	三遠南信地域の水陸交通と GIS	2018年12月	2018年度越境地域政策研究フォーラム、愛知大学、豊橋市	
141	飯塚隆藤	「鴨川古写真 GIS データベース」の構築と河川環境の変遷分析に関する研究<成果報告>	2019年2月	文部科学省共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」/研究拠点形成支援プログラム研究プロジェクト 2018年度成果発表会	谷端郷・大邑潤三・佐藤弘隆・島本多敬
142	石上阿希	「春画をみつめる眼—大衆・近代・西洋」	2018年12月15日	第53回国際研究集会「世界史のなかの明治/世界にとっての明治」、国際日本文化研究センター	
143	石上阿希	「ド・ロ版画関連資料調査報告」	2019年2月17日	広領域連携型基幹研究プロジェクト「異分野融合による『総合書物学』の構築」総合シンポジウム「書物を耕す—総合書物学の挑戦」	
144	井上学	外国人利用者に向けた公共交通の利用方法とマナー啓発に関する情報の発信	2018年7月	日本モビリティ・マネジメント会議第13回大会、名鉄トヨタホテル、豊田市	児玉健、池島博幸、長坂英登、他4名
145	岩井眞實	日本伝統演劇と文化現象	2018年7月	日本演劇学会全国大会、神戸松蔭女子大学	中尾薫、武井協三、高橋則子
146	岩井眞實	Revenge through Ages: Politics of <i>Yoshitsune and the Thousand Cherry Trees</i>	2018年7月	国際演劇学会 (IFTR) ベオグラード芸術大学	小田中章浩
147	上田文	近代の絁と京都の機械捺染—デザインと技術をめぐって—	2018年8月	意匠学会第60回大会 同志社大学寒梅館ハーディーホール	
148	上田文	Japanese African Print: Order Production and “Pekalongan” Design, 1960s-1980s	2018年9月	Printed Textiles for West Africa, c1860-1980s, Low Countries, Scotland, Switzerland, Japan and their Global Connections, University of Leuven, Belgium	
149	大西秀紀	大阪の声と唄	2018年6月	大阪芸能懇話会 6月例会、難波市民学習センター、大阪市	肥田暗三
150	岡本隆明	「東寺百合文書 WEB」について	2018年11月	共同研究集会 歴史災害研究のためのオープンデータ・ショーケース (研究代表者:加納靖之), 国立情報学研究所, 東京都千代田区	
151	岡本隆明	資料所蔵者はどこまでサービスできるか?	2019年2月	「アジア芸術学」の創成 国際ワークショップ / 東アジア文化研究のフロンティア, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都市北区	

152	亀田和子	「蘭亭曲水宴図の様化— 中国の画題が和の場に属す る例として」	2018年12月23 日	東文研ワークショップ「和漢の故事人 物と自然表象—16、7世紀の日本を 中心に」東京大学東洋文化研究所大会 議室	島尾新、佐野みどり
153	亀田和子	【招待】「曲水宴から雛祭り へ」	2019年2月28 日	木曜午餐会 マキキ聖城キリスト教会	
154	亀田和子	【招待】「蘭亭曲水宴図」	2018年10月28 日	木曜午餐会 マキキ聖城キリスト教会	
155	加茂瑞穂	【招待】「文様の宝庫—型紙 とデジタル・アーカイブ—」	2018年7月	第1回 データ科学セミナー、東京電 機大学	
156	加茂瑞穂	【招待】染色型紙の整理と 活用、そして情報発信	2019年2月	シンポジウム「型紙から見る浜松と遠 州における染色の技法とデザイン」、静 岡文化芸術大学	
157	鹿内菜穂	ヨガが女子大学生の気分の 変化に与える影響	2018年9月	日本心理学会第82回大会、仙台国際セ ンター	
158	鹿内菜穂	自由回答記述からみるヨガ 実施後の内省の変化—テキ ストマイニングを用いた検 討—	2018年10月	日本スポーツ心理学会第45回大会、名 古屋国際会議場	
159	鹿内菜穂	【招待】ヨガにおける心理 的变化に関する研究	2019年3月	民俗芸能情報技術研究会シンポジウ ム、スパリゾートハワイアンズ	
160	原田真澄	【招待】シンポジウム「楽 劇と平家物語」近世演劇	2018年7月	楽劇学会 第26回大会、国立能楽堂大 講義室、東京	伊海孝充、野川美穂子
161	村田隆志	「旧日本南画院と田近竹 邨・長尾雨山—近代京都南 画壇の活動をめぐって—」	2018年8月	書論研究会第40回大会、高松市歴史資 料館、高松市	
162	山本真紗子	「大原女—イメージと実像 の変遷」	2018年6月24 日	京都販女文化研究会例会、京都女子大 学	
163	山本真紗子	「大原女」のいる風景	2019年2月25 日	立命館大学国際言語文化研究所重点研 究プログラム「風景・空間の表象、記 憶、歴史」研究例会、立命館大学	
164	脇田航	簡易没入型全方位 VR 歩行 プラットフォームを用いた 直感的なドローン制御シス テムの検討	2019年3月	知覚情報研究会「マルチモーダル応用 及び一般」、PI-19-017、福江文化会館 3F 展示室、五島市	石川晃成、山本智之、齊藤充行、小林康 秀
165	脇田航	簡易没入型全方位 VR 歩行 プラットフォームの改良 (第二報)	2019年3月	知覚情報研究会「マルチモーダル応用 及び一般」、PI-19-017、福江文化会館 3F 展示室、五島市	
166	脇田航	全方位 VR 歩行システム のためのアバターの姿勢制御	2018年12月	知覚情報研究会「複合現実型実用お よび一般」、PI-18-083、SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE、西牟婁 郡	山本智之、齊藤充行、小林康秀
167	脇田航	高臨場かつ直観的なショベ ルカーの遠隔作業を可能と するテレイグジスタンスシ ステムの提案	2018年12月	知覚情報研究会「複合現実型実用お よび一般」、PI-18-083、SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE、西牟婁 郡	早川達也、齊藤充行、小林康秀

168	脇田航	簡易モーションプラットフォームおよびコンテンツ応用 (第二報)	2018年12月	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」, PI-18-083, SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE, 西牟婁郡	高野智幸, 波多間俊之
169	脇田航	簡易没入型全方位 VR 歩行プラットフォームの改良	2018年12月	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」, PI-18-083, SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE, 西牟婁郡	
170	脇田航	ニューラルネットワークを用いたモデル化誤差推定車両モデルの推定精度の向上	2018年12月	第27回計測自動制御学会中国支部学術講演会, 県立広島大学 広島キャンパス 教育研究棟2	三浦大輝, 齊藤充行, 小林康秀
171	脇田航	A Low-cost Motion Platform with Balance Board	2018年11月	ACM VRST 2018, Posters and demos, Waseda University, Tokyo, Japan	Tomoyuki Takano, and Toshiyuki Hadama
172	脇田航	A Low-cost Omni-directional VR Walking Platform by Thigh Supporting and Motion Estimation	2018年11月	ACM VRST 2018, Posters and demos, Waseda University, Tokyo, Japan	Tomoyuki Takano, and Toshiyuki Hadama
173	脇田航	VRのための体感型歩行デバイスにおける力覚情報の付加について	2018年11月	3Dフォーラム第124回研究会, 法政大学小金井キャンパス 西館 3F 共通実験室	原田哲也, 野澤彼方, 本多健二, 佐藤誠
174	脇田航	出力量を評価する確率的出力フィードバック制御の可解条件	2018年10月	平成30年度(第69回)電気・情報関連学会中国支部連合大会, R18-16-02, 広島市立大学, 広島市	灰田拓未, 齊藤充行, 小林康秀
175	脇田航	モデル化誤差を考慮した車両モデルの提案	2018年10月	平成30年度(第69回)電気・情報関連学会中国支部連合大会, R18-16-01, 広島市立大学, 広島市	三浦大輝, 齊藤充行, 小林康秀
176	脇田航	簡易モーションベースを用いた車両運転時の慣性力および路面振動の呈示法の検討	2018年10月	知覚情報研究会「知覚情報技術の最前線」, PI-18-070, 電気学会本部, 東京都	丸橋悠人, 伊藤拓親, 齊藤充行, 小林康秀
177	脇田航	全方位無限歩行システムにおけるアバター姿勢制御	2018年9月	第23回日本バーチャルリアリティ学会大会, 東北大学青葉山新キャンパス 青葉山 commons, 仙台市	山本智之, 齊藤充行, 小林康秀
178	脇田航	力覚と歩行感覚が体感できる VR 環境の開発	2018年9月	第23回日本バーチャルリアリティ学会大会, 東北大学青葉山新キャンパス 青葉山 commons, 仙台市	野澤彼方, 本多健二, 佐藤誠, 原田哲也
179	脇田航	運転適性判断のための低コストかつ高臨場な球面体モーションベースを用いた VR ドライビングシミュレータの提案	2018年9月	第23回日本バーチャルリアリティ学会大会, 東北大学青葉山新キャンパス 青葉山 commons, 仙台市	伊藤拓親, 齊藤充行, 小林康秀

180	脇田航	高臨場かつ直観的な遠隔作業を可能とするシヨベルカーのトレイグジスタンスシステム	2018年9月	第23回日本バーチャルリアリティ学会大会, 東北大学青葉山新キャンパス青葉山commons, 仙台市	早川達也, 齊藤充行, 小林康秀
181	脇田航	移動体の低コストかつ高没入可能なトレイグジスタンスシステムの提案	2018年9月	第23回知能メカトロニクスワークショップ, モビリティ, 2A4-4, 沖縄工業高等専門学校, 名護市	早川達也, 真殿 尚輝, 櫻井康平, 齊藤充行, 小林康秀
182	脇田航	高齢運転者のための低コストかつ運転適性判断可能なVRドライビングシミュレーターの提案	2018年9月	第23回知能メカトロニクスワークショップ, デバイス/インタフェース, 2B4-1, 沖縄工業高等専門学校, 名護市	伊藤拓親, 齊藤充行, 小林康秀
183	脇田航	出力量と操作量を評価する出力フィードバック制御の可解条件	2018年8月	電気学会産業応用部門大会 2018, ヤングエンジニアポスターセッション (YPC), 横浜国立大学, 横浜市	灰田拓未, 齊藤充行, 小林康秀
184	脇田航	車両重心点位置のズレを考慮した車両モデルの提案	2018年8月	電気学会産業応用部門大会 2018, ヤングエンジニアポスターセッション (YPC), 横浜国立大学, 横浜市	三浦大輝, 齊藤充行, 小林康秀
185	脇田航	VRのための体感型歩行デバイスにおける力覚情報の付加	2018年8月	知覚情報研究会「複合現実型実用および一般」, PI-18-068, ハウステンボスタワーシティプラザ第6会議室, 佐世保市	野澤彼方, 本多健二, 佐藤 誠, 原田哲也
186	脇田航	簡易没入型全方位 VR 歩行プラットフォームおよびコンテンツ応用	2018年8月	知覚情報研究会「複合現実型実用および一般」, PI-18-067, ハウステンボスタワーシティプラザ第6会議室, 佐世保市	高野智幸, 波多間俊之
187	脇田航	簡易2軸モーションプラットフォームおよびコンテンツ応用	2018年8月	知覚情報研究会「複合現実型実用および一般」, PI-18-066, ハウステンボスタワーシティプラザ第6会議室, 佐世保市	高野智幸, 波多間俊之
188	脇田航	簡易2軸モーションプラットフォーム	2018年6月	知覚情報研究会「複合現実型実用および一般」, PI-18-046, グランフロント大阪 北館・ナレッジキャピタル2F アクティブスタジオ, 大阪市	
189	脇田航	簡易没入型全方位 VR 歩行システム	2018年6月	知覚情報研究会「複合現実型実用および一般」, PI-18-045, グランフロント大阪 北館・ナレッジキャピタル2F アクティブスタジオ, 大阪市	
190	MARCEAU Laurence	【学会発表】”Transforming the Mediterranean World in <i>Isopo monogatar</i> ”	2018年6月30日	Asian Studies Conference Japan (ASCJ)、国際基督教大学	
191	MARCEAU Laurence	” Illustrating <i>Aesop: The Tales of Isopo Scrolls</i> and Transformation of the Mediterranean World into the Chinese Visual Field	2018年7月5日	日文研 Evening Seminar	

192	MARCEAU Laurence	研究報告「仮名草子『伊曾保物語』における大衆性について」	2018年7月14日	日文研共同研究会「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」近世班	
193	MARCEAU Laurence	講演” Anomalies in <i>Aesop</i> : Extraneous Episodes in the Japanese Script Editions of <i>Isopo monogatari</i> (c. 1610-1620)”	2018年7月23日	École Française d’ Extrême-Orient (EFEO) 及び Scuola Italiana di Studi sull’ Asia Orientale (ISEAS・イタリア東方研究) 共同主催の Kyoto Lectures シリーズ	
194	MARCEAU Laurence	研究報告「『伊曾保物語』— 翻案、図像、古典性—」	2018年7月29日	日文研共同研究会「投企する古典性— 視覚・大衆・現代—」	
195	MARCEAU Laurence	企画講演「イソポの姿と寓話の変容 — 『伊曾保物語絵巻』におけるアジア—」	2018年8月25日	国際日本研究会議 (KAJA: Japanese Studies Association of Korea)	
196	MARCEAU Laurence	講演「絵に描かれたイソップ — 『伊曾保物語絵巻』—」	2018年8月27日	韓国・京畿大学校	
197	MARCEAU Laurence	研究会発表「『伊曾保物語』絵巻について — メディア・言語・翻案—」	2018年9月1日	キリシタン語学研究会 (於 大阪大学豊中キャンパス)	
198	MARCEAU Laurence	研究会発表「『伊曾保物語』の絵巻 (奈良絵本・絵巻) と東西の文化交流」	2018年11月21日	京文化研究会 (於 立命館大学文学部)	
199	赤間亮	The Art Research Center’s Digital Archives and Research Environment	2018年9月	Digital Japan Mini-Festival	Ryoko Matsuba
200	赤間亮	如何為藝術建置數位資料庫 由立命館大學藝術研究中心的經驗	2018年11月	超越時、空與文化之數位資料庫建置與活用	
201	塚本章宏	徳島大学附属図書館のデジタルアーカイブ事業—高精度・伊能図・クラウドファンディング—	2019年3月1日	第12回四国GISシンポジウム	佐々木奈三江
202	矢野健一	滋賀県米原市杉沢遺跡における考古学と美術の共同プロジェクト	2018年5月	日本考古学協会第84回総会	横谷奈歩・北原和規・藤井良平・松尾恵・高橋順之
203	田中聡	京都地域資料のアーカイブ構築	2018年12月	立命館大学生存学研究センター「マイノリティ・アーカイブズの構築・研究・発信」ワークショップ、立命館大学	利光恵子、河村宏
204	田中聡	近代歴史学のなかの『日本書紀』— 神代紀を中心として —	2018年12月	『日本書紀』1300年史を問う・第4回研究会、國學院大學	アングソヴァ・マラル、伊藤聡、松本郁代
205	田中聡	京都地域資料データベース作成と活用	2019年3月	2018年度私大戦略報告会、立命館大学アトリサーチセンター	木立雅朗

206	田中聡	渡辺信一郎・西村成雄編『中国の国家体制をどうみるかー伝統と近代ー』（汲古書院）の渡辺論文（総説一、第一章）を読む	2019年3月	大阪歴史科学協議会5月例会準備報告検討会, 神戸大学	市原宏一
207	田中聡	見えないものと出会うー諸星大二郎といがらしみきおの恐怖表現	2019年3月	神戸大学国際文化学研究推進センター「映像における真偽・恐怖・注意の制御に関する領域横断的研究」第5回研究会, 神戸大学	板倉史明、小澤卓也、尾鼻崇
208	木立雅朗	京都府亀岡市篠窯跡群「小型三角窯」の復原と焼成実験	2018年5月27日	日本考古学協会総会 研究発表会 ポスターセッション	
209	木立雅朗	民俗資料の保存と活用についてー窯業と染織ー	2018年10月21日	シンポジウム 近代京都産業遺産の保存と活用	
210	木立雅朗	考古学による京都学の実践ー京都の近現代遺跡と史資料群の保存と活用ー	2018年10月26日	京都学研究会	
211	木立雅朗	五条坂に残る磁器人形ー遺品が語る、時代・世相と物流ー	2018年11月9日	「五条坂に残る磁器人形」展 特別企画	
212	木立雅朗	モノを通じて見た地域の歴史ー伝統工芸から見た京都の現在・過去・未来ー	2018年11月18日	文化的景観研究集会（第10回）風景の足跡ー考古学からの文化的景観再考ー	
213	木立雅朗	五条坂の歴史と登り窯ーシンボルの光と影ー	2018年12月8日	京都建築専門学校 第31回市民講座シンポジウム 創造力を育むまちとは？ー京焼の五条坂で考えるー	
214	木立雅朗	瓦窯の構造と技術ー天井・床面角度と窯焚き技術ー	2018年12月16日	窯跡研究会第17回研究会 瓦窯の構造研究8	
215	木立雅朗	乾山窯と京焼窯ー民俗考古学から見た御室・鳴滝・五条坂ー	2019年3月23日	京都大学総合博物館 平成30年度特別展・文化財発掘V 展示関連講演会	
216	田中弘美	柔軟物における視覚的質感から触覚的質感の再現に向けてー硬さが摩擦係数に与える影響の解析ー	2018年5月7日	第21回 画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2018)	
217	田中弘美	柔軟物を対象とした指先の触察により生じる摩擦のモデル化	2018年10月10日	質感のつどい 第4回公開フォーラム	
218	田中弘美	柔軟物の視触覚情報処理と五感通信への応用	2019年1月17日	電子情報通信学会 技術研究報告	
219	田中弘美	Estimating Absorption Coefficient of Primary Color Woven Fabric	2019年2月20日	International Workshop on Frontiers of Computer Vision (IW-FCV2019)	
220	田中弘美	原色の織物における繊維内部の光の伝搬に基づく吸収係数の推定	2019年3月7日	情報処理学会 研究報告	

221	稲葉光行	Constructing Multicultural Learning Environment and Collaborative Serious Games in Metaverse	2018年8月20日	Replaying Japan 2018	
222	稲葉光行	Grounded text mining approach (GTxA): An integration of grounded theory and cross-over mixed analyses	2018年8月23日	MMIRA (Mixed Methods International Research Association) International Conference 2018	
223	稲葉光行	The Impact of Presentation Media of Suspect's Confessions on the Viewer's Conviction	2018年12月15日	12th Annual Conference of East Asian Association of Psychology and Law 2018	
224	稲葉光行	Expectation for "Psychology and Law" in Innocence Efforts	2018年12月15日	12th Annual Conference of East Asian Association of Psychology and Law 2018	
225	稲葉光行	子どもを中心としたまちづくりと地域活性化のための実践共同体	2019年1月15日	立命館大学地域情報研究所プロGRESSレポート	
226	稲葉光行	Implementing Platforms for Cultural Construction	2019年3月12日	NII Shonan Meeting "Modelling Cultural Process"	
227	稲葉光行	Children-centered community development through university-community collaboration in Japan	2019年3月15日	University-Community Links (UCLinks) Conference 2019	

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	手書き映画ポスターと看板の世界	衣笠キャンパス	2018年9月	100名	立命館大学アート・リサーチセンター
2	東アジア文化研究のフロンティア	立命館大学アート・リサーチセンター	2019年2月	20名	立命館大学アジア・日本研究推進プログラム『アジア芸術学』の創成 立命館大学私立大学戦略的研究基盤京成支援事業「日本文化資源のグローバルアクション」
3	西川祐信『正徳雛形』研究会、第48～58回	立命館大学 ARC 会議室	2018年4～2019年3月毎月1回	毎回約10名	
4	全国バスマップサミット in 熊谷	立正大学熊谷キャンパス	2018年11月	100名	
5	茶の湯レクチャーとデモンストラーション	The Naulu Center, University of Hawaii West Oahu	2019年3月	30名	裏千家国際部、裏千家ハワイ出張所

6	近代京都と図案集	京都工芸繊維大学	2018年10月	30名	京都市立芸術大学芸術資料館
7	一般社団法人電気学会C部門知覚情報技術委員会 知覚情報研究会「マルチモーダル応用及び一般」	福江文化会館 3F 展示室, 五島市	2019年3月	26名	
8	一般社団法人電気学会C部門知覚情報技術委員会 知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」	SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE, 西牟婁郡	2018年12月	13名	
9	一般社団法人電気学会C部門知覚情報技術委員会 知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」	ハウステンボスタワーシティプラザ第6会議室, 佐世保市	2018年8月	130名	
10	一般社団法人電気学会C部門知覚情報技術委員会 知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」	グランフロント大阪 北館・ナレッジキャピタル2F アクティブスタジオ, 大阪市	2018年6月	94名	
11	(学会パネル主催者) "Translation and Adaptation in Premodern Japan"	国際基督教大学	2018年6月30日	約30名	ASCJ 企画委員会
12	共同研究会主催 (安井眞奈美日文研教授と共に)	国際日本文化研究センター(日文研)	発表はしていないが、研究会は2018年5月26日、同9月8~9日、同12月1~2日、2019年2月1~2日に開催された	各研究会に20~25名参加	国際日本文化研究センター(日文研)
13	The 2018 International Symposium on Advanced Technologies and Applications in the Internet of Things (ATAIT 2018)	OIC	2018年4月	30名	立命館大学VLSIセンター、中南大学(中国)
14	人文地理学会大会部会アワー 第152回 歴史地理研究部会 —英国における歴史GISの展開—	奈良大学	2018年11月24日	27名	人文地理学会歴史地理研究部会、立命館大学歴史都市防災研究所
15	人文地理学会第153回歴史地理研究部会 —佛大本洛中洛外図の空間を読み解く—	佛教大学宗教文化ミュージアム	2018年12月1日	47名	人文地理学会歴史地理研究部会、地理思想研究部会
16	京都民科歴史部会『新しい歴史学のために』293号合評会	京都市	2019年1月	35名	大学寺子屋

5. その他研究活動(報道発表や講演会等)				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	細井浩一	能舞台と能舞体験(仮想空間展示)	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター付属仮想博物館(ARC/VM)」	2008年11月1日~
2	細井浩一	デザインの群舞:伊勢型紙の世界(仮想空間展示)	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター付属仮想博物館(ARC/VM)」	2009年12月1日~

3	細井浩一	京都”型友禅”バーチャルミュージアム	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター付属仮想博物館（ARC/VM）」	2012年7月30日～
4	細井浩一	春画を見る、艶本を読む（仮想空間展示）	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター付属仮想博物館（ARC/VM）」	2014年3月15日～
5	細井浩一	多色摺木版画の版木-刷摺の技法（仮想空間展示）	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター付属仮想博物館（ARC/VM）」	2015年3月15日～
6	細井浩一	根付けミュージアム（仮想空間展示）	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター付属仮想博物館（ARC/VM）」	2017年4月1日～
7	細井浩一	ゲーム展 Ten（仮想空間展示）	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター付属仮想博物館（ARC/VM）」	2018年3月1日～
8	鈴木桂子	海を渡った「きもの」文化 全3回講義 第1回「江戸時代の「きもの」文化とオランダ貿易」（4月19日） 第2回「近代の「きもの」文化とジャポニスム」（5月17日） 第3回「20世紀の「きもの」文化と国際化」（6月21日）	立命館大阪梅田キャンパス、立命館アカデミックセンター主催 2018年度おとなの学び舎	2018年4月19日 ～2018年6月21日
9	鈴木桂子	立命館土曜講座 特集「近代化・洋装化社会でのきもの文化・ビジネスを考える」	衣笠キャンパス末川記念会館 SK101（講義室）、立命館土曜講座	2019年1月12日 ～2019年1月26日
10	鈴木桂子	「近代以降のコンタクト・ゾーンにおけるキモノ文化」	衣笠キャンパス末川記念会館 SK101（講義室）、立命館土曜講座	2019年1月12日
11	金子貴昭	木版印刷の歴史・さまざまな板木	ワークショップ「自分で和装絵本を一摺る&綴じる」	2019年1月12日
12	西林孝浩	東寺の密教美術とその源流	2018年度京都・大阪文化講座（春期）「講座で巡る京都大阪一円の寺々」	2018年5月28日
13	西林孝浩	美術いま関西で：造形の広がり と多様性 特別展『仏教美術の名宝』	大阪日日新聞 7面	2018年9月25日
14	西林孝浩	美術いま関西で：近年の「刀剣女子」ブームと展覧会に思う 京のかたな 匠のわざと雅のこころ展	大阪日日新聞 9面	2018年11月27日
15	李増先	デジタルアーカイブ産学官フォーラム	日比谷図書文化館日比谷コンベンションホール	2019年2月27日
16	飯塚隆藤	【市民講座】豊橋と三遠南信の歴史 GIS	2018年度豊橋市民大学トラム、愛知大学、豊橋市	2018年10月27日
17	飯塚隆藤	【講演会】東海地域での歴史 GIS 教育	東三河産学官交流サロン第412回、アークリッシュホテル、豊橋市	2019年2月20日
18	石上阿希	「ピエール セルネ & 春画」展 解説「ピエール セルネ & 春画」展図録 総説・解説	シャネルネクスサスホール	2019年3月13日～4月7日
19	石上阿希	『日文研コレクション 描かれた「わらい」と「こわい」—春画・妖怪画の世界—』展開催	人間文化研究機構基幹研究プロジェクト ニュースレター きざし	2018年3月

20	石上阿希	展覧会「日文研コレクション 描かれた「わらい」と「こわい」展 — 春画・妖怪画の世界 —」	京都市・細見美術館	2018年10月16日～12月9日
21	石上阿希	映像制作「春画復刻プロジェクト—春画の魅力編」春画復刻プロジェクト—プロジェクトは、こうした始まった 魅力編」各6分		2018年9月
22	石上阿希	郭 南燕、石上 阿希、増田 斎「外国人宣教師日本語著作目録 カ行～ナ行」PDFの公開	<a href="https://krishitan.rspace.nichibun.ac.jp/bibliography/">https://krishitan.rspace.nichibun.ac.jp/bibliography/</a>	2018年6月～2019年3月
23	石上阿希	解説『女大楽宝開』と中国養生書	『日文研所蔵 近世艶本資料集成 VI 月岡雪鼎・3『女大楽宝開』』	2018年11月30日
24	石上阿希	インタビュー「江戸の色つや、いまに彫り出す 春画の木版画復刻 京都の職人・研究者ら」	「朝日新聞」	2018年12月5日
25	石上阿希	インタビュー「傑作春画「袖の巻」全12図復刻プロジェクト」	『週刊ポスト』	2019年1月11日
26	石上阿希	インタビュー「うらめしい春画」	田中圭子『うらめしい絵』	2018年8月19日
27	井上学	ヒアリング調査から見えた持続可能なバス交通のありかたとこれからの課題	国土交通省近畿運輸局「路線バスの可能性を考えるシンポジウム」大阪歴史博物館、大阪市中央区	2017年4月～2019年3月（2019年1月30日）
28	井上学	地域コミュニティの力で実現するこれからの公共交通	国土交通省四国運輸局「地域公共交通シンポジウム in 徳島」ミリカホール、小松島市	2018年11月12日
29	井上学	地域が主役の公共交通活性化	大津の京阪電車を愛する会総会、明日都浜大津、大津市	2018年5月17日
30	加茂瑞穂	美術 いま関西で14	大阪日日新聞	2018年10月23日
31	加茂瑞穂	時を紡ぐ伊勢型紙(室田美々)	『パテックフィリップインターナショナルマガジン』6号、pp.65-69	2018年10月
32	加茂瑞穂	Designer's Inspiration	<a href="http://www.kyolite.co.jp/katagami/">http://www.kyolite.co.jp/katagami/</a>	2018年4月～2019年3月
33	村田隆志	展覧会担当「筆が奏でる琳派の美」	筆の里工房	2018年9月22日～11月4日
34	村田隆志	【招待】展覧会担当「寄贈50周年記念 長谷川コレクション展」	山形美術館	2018年12月6日～2019年1月27日
35	村田隆志	作品解説『奇想の系譜 江戸絵画ミラクルワールド』	(日本経済新聞社・東京都美術館)	2019年2月
36	村田隆志	講【招待】演「破墨の表現力—現代の芸術へのサジェスション」	破墨プロジェクト study シリーズ2、於：KOBE STUDIO Y3 C.A.P (芸術と計画会議)	2018年5月13日
37	村田隆志	【招待】講演「芸術鑑賞と感動の意義—人生100年時代を生きるために—」	NPO法人和えの会平成30年6月講演会、於：大阪市立中央区民センター	2018年6月24日
38	村田隆志	【招待】講演「文房流の祖、山本竹雲の生涯と芸術」	文房流晴心会平成30年度夏季研修会、於：福井市文化会館	2018年9月2日

39	村田隆志	講演「寝屋川・門真の楠 ―北河内の巨木・名木―	「再発見！北河内の豊かな歴史と文化」第2回講座、於：大阪国際大学	2018年10月3日
40	村田隆志	【招待】講演「淀川の歴史と文化～京都と大阪をつないだ、もう一つの路～」	第43回京阪・文化フォーラム「明治維新と東海道五十七次」基調講演、於：大阪国際大学	2018年12月2日
41	村田隆志	【招待】講演「(山)長谷川コレクションと山形の文化 ―その魅力と意義―	「寄贈50周年記念 長谷川コレクション展」記念講演会、於：山形美術館	2019年1月12日
42	村田隆志	講演「守口に生きた四人の芸術家 淡哉・乱歩・玉青、そして野坂昭如」	「再発見！北河内の豊かな歴史と文化」第2回講座、於：大阪国際大学	2019年3月2日
43	山本真紗子	「美術いま関西で10 見極めた作品の要点を凝縮 記録された日本美術史―相見香雨、田中一松、土居次義の調査ノート展―	2018年8月14日大阪日日新聞（展覧会評）	2018年8月
44	山本真紗子	「美術いま関西で16 本能に根ざすパロディー 「日文研コレクション・描かれた「わらい」と「こわい」―春画・妖怪画の世界―	2018年11月13日大阪日日新聞（展覧会評）	2018年11月
45	山本真紗子	「京都画壇の明治 ―流派を越えた交流と「教育」の生み出したもの―	『民族芸術』35（民族芸術学会）、pp170~171	2019年3月
46	MARCEAU Laurence	一般向けの公開講演「イソップ物語は、江戸時代でもよく読まれていた！―西洋古典の日本への輸入―	石川県小松市、特別養護施設・まだら園	2018年3月4日
47	MARCEAU Laurence	出前授業「江戸の文化は面白い！（かな？）」	京都市立桂坂小学校（6年2組）	2018年10月12日
48	MARCEAU Laurence	Vanessa Tothill氏の博士論文査読、及び口答試問に携わった	立命館大学衣笠キャンパス内のある講義室	2018年7月13日
49	許 婷 /Xu Ting	Interactive Media Art	衣笠キャンパス	2018年12月
50	赤間亮	赤穂市「忠臣蔵」浮世絵データベース	赤穂市(HP)	2018年7月25日～
51	赤間亮	浮世絵から読み解く「忠臣蔵」	立命館大学梅田キャンパス	2018年10月12日～2018年12月14日
52	赤間亮	「絵本の絵」展（含：デジタル展示）	立命館大学アート・リサーチセンター	2018年12月10日～2019年1月19日
53	赤間亮	国立音楽大学附属図書館 竹内道敬文庫デジタル・アーカイブ―錦絵の部―	国立音楽大学図書館（HP）	2019年3月25日～
54	矢野健一	滋賀県米原市杉沢遺跡における調査成果	伊吹山文化資料館（滋賀県米原市）における「米原市歴史講座」で講演 2018年8月22日	2018年8月22日～2018年8月22日

55	矢野健一	杉沢遺跡の調査状況を説明 米原	中日新聞滋賀版	2018年8月25日 ～2018年8月25日
56	矢野健一	杉沢遺跡で縄文土器の一部発見 米原・伊吹山中生12人発掘体験	中日新聞滋賀版	2018年8月31日 ～2018年8月31日
57	矢野健一	企画展「春休みの遺跡—米原市杉沢遺跡の[考古×美術]プロジェクト」を企画・制作	伊吹山文化資料館（滋賀県米原市）	2019年2月26日 ～2019年3月31日
58	矢野健一	「考古&現代美術のコラボ 杉沢遺跡を「地上と地中で再現」紹介記事掲載	滋賀夕刊	2019年2月27日 ～2019年2月27日
59	矢野健一	企画展示「春休みの遺跡—米原市杉沢遺跡の[考古×美術]プロジェクト」の紹介記事掲載	中日新聞滋賀総合版	2019年3月2日 ～2019年3月2日
60	矢野健一	一般向け講演「杉沢遺跡の発掘調査成果」	伊吹山文化資料館（滋賀県米原市）の平成30年度米原市埋蔵文化財活用シンポジウム「遺跡はまちの宝もの」	2019年3月3日 ～2019年3月3日
61	木立雅朗	展示会「五条坂に残る磁器人形遺品が語る、時代・世相と物流」	京都市東山区「陶点晴かわさき」2階ギャラリー	2018年11月1日

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	細井浩一	日本デジタルゲーム学会	2018年度日本デジタルゲーム学会賞（団体・代表）		2019年3月
2	前田亮	International Association of Engineers	Best Student Paper Award of the 2018 IAENG International Conference on Internet Computing and Web Services（共著）	An Entity Disambiguation Approach Based on Wikipedia and Word Embeddings for Entity Linking in Microblogs	2018年9月
3	田中覚	可視化情報学会	[学生の受賞] 可視化情報学会 第46回可視化情報シンポジウム・ベストプレゼンテーション賞	3次元計測点群データの奥行き強調可視化—点線と点密度制御の活用—	2018年9月
4	田中覚	可視化情報学会	[学生の受賞] 第2回ビジュアライゼーションワークショップ・優秀賞（大学院生の部）	南海トラフ巨大地震における大規模津波の数値シミュレーションに基づく塩分変動ビジュアル解析	2019年3月
5	田中覚	可視化情報学会	[学生の受賞] 第2回ビジュアライゼーションワークショップ・最優秀賞（学部生の部）	レーザ計測によって取得された大規模3次元点群の自動ノイズ平滑化と高品質透視可視化	2019年3月
6	長谷川恭子	可視化情報学会	ベストプレゼンテーション賞	3次元計測点群データの奥行き強調可視化—点線と点密度制御の活用—	2018年9月

7	脇田航	知覚情報研究会「マルチモーダル応用及び一般」	技術委員会奨励賞	簡易没入型全方位 VR 歩行プラットフォームを用いた直感的なドローン制御システムの検討	2019年3月
8	脇田航	第27回計測自動制御学会中国支部学術講演会	奨励賞	ニューラルネットワークを用いたモデル化誤差推定車両モデルの推定精度の向上	2018年12月
9	脇田航	ACM VRST	Honorable Mentions (Poster & Demo) Award	A Low-cost Motion Platform with Balance Board	2018年12月
10	脇田航	平成30年度(第69回)電気・情報関連学会中国支部連合大会	電気学会中国支部奨励賞	モデル化誤差を考慮した車両モデルの提案	2018年10月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	細井浩一	日本文化資源としてのゲームデータベースの継続的構築に関する基礎的研究	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
2	鈴木桂子	染色デザインの世界的連環―「きもの」文化を中心に	基盤研究(C)	2018年4月	2021年3月	代表
3	鈴木桂子	18～20世紀の糸・布・衣の廉価化をめぐる世界史	基盤研究(B)	2015年4月	2019年3月	分担
4	前田亮	多言語デジタルアーカイブにおける言語横断レコード同定手法の研究	基盤研究(C)	2016年4月	2020年3月	代表
5	矢野桂司	人口減少期の都市地域における空き家問題の解決に向けた地理学的地域貢献研究(分担)	基盤研究(B)	2015年4月	2019年3月	分担
6	矢野桂司	歴史 GIS によるデジタル・ヒューマニティーズの展開	基盤研究(A)	2016年4月	2020年3月	代表
7	矢野桂司	「地域の知」の共有と利活用を支援する地域研究情報基盤の構築(分担)	基盤研究(A)	2016年4月	2020年3月	分担
8	矢野桂司	時空間情報の次世代分析ツールボックスの開発と応用(分担)	基盤研究(A)	2016年4月	2021年3月	分担
9	矢野桂司	人と社会の側からみた地図・地理空間情報の新技術とその評価	基盤研究(A)	2017年4月	2021年3月	分担
10	矢野桂司	日本古地図ポータルサイトによるデジタル・ヒューマニティーズの推進	挑戦的研究(開拓)	2017年6月	2021年3月	代表
11	金子貴昭	東アジア比較板木研究体制の構築	基盤研究(C)	2016年4月	2019年3月	代表
12	田中覚	3次元計測で得られる大規模ポイントクラウドの、透視可視化に基づく立体構造理解	基盤研究(B)	2016年4月	2019年3月	代表
13	斎藤進也	立方体型情報ビューアによる視覚的データ管理手法の構築	基盤研究(C)	2015年4月	2019年3月	代表
14	西浦敬信	音環境の協和音化に基づく騒音環境の快音化	挑戦的研究(萌芽)	2018年6月	2020年3月	代表
15	李亮	感覚相互作用を用いた脳卒中患者のリハビリ向けのVR学習支援システムの開発	基盤研究(C)	2018年4月	2021年3月	分担

16	李増先	極東における和刻本漢籍流通の実態解明に関する研究	若手研究 (B)	2017年4月	2020年3月	代表
17	BATJARGAL Biligsaikhan	多言語デジタルアーカイブにおける言語横断レコード同定手法の研究	基盤研究(C)	2016年4月	2020年3月	分担
18	BATJARGAL Biligsaikhan	Research on Knowledge Extraction from Ancient Mongolian Historical Documents using Deep Learning	基盤研究(C)	2017年4月	2021年3月	代表
19	常木佳奈	明治期文芸書の〈装い〉に関する研究——木版口絵を中心に——	特別研究員奨励費	2018年4月	2020年3月	代表者
20	相田敏明	圧縮センシングのための画像辞書への確率分布アプローチ	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
21	相田敏明	ディープラーニングを用いた生活習慣病予防のための新たな成長曲線の開発	基盤研究(C)	2018年4月	2021年3月	分担
22	飯塚隆藤	東海地方における近代水陸交通の地域的变化に関する歴史 GIS 研究	若手研究	2018年4月	2021年3月	代表
23	石上阿希	「17～18世紀の京都における「知」の大衆化—絵入百科事典を中心として—」	基盤研究 (C)	2018年4月	2022年3月	研究代表者
24	岩井眞實	壁を壊す—国際的な日本演劇研究のための拠点の構築	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
25	大西秀紀	ニッポン、ナショナル、日蓄オリエン特各社のディスコグラフィ作成	基盤研究(C)	2017年4月	2019年3月	代表
26	加茂瑞穂	近世後期から明治期京都における染織意匠の展開に関する研究	特別研究員奨励費	2017年4月	2020年3月	代表
27	加茂瑞穂	近代京都の美術・工芸に関する総合的研究-制作・流通・鑑賞の視点から-	基盤研究(B)	2015年4月	2019年3月	分担
28	脇田航	身体知解析に基づく複合現実型技能伝承システムの構築	若手研究(A)	2016年4月	2019年3月	代表
29	赤間亮	第三期役者評判記の有用性に関する総合的研究	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	分担
30	赤間亮	日本歴史的典籍の SNS 型電子テキストアーカイブ・プラットフォーム構築研究	挑戦的研究 (萌芽)	2017年6月	2020年3月	代表
31	赤間亮	在外絵入版本・浮世絵のイメージデータベースによるカタログリングと研究基盤の構築	基盤研究(B)	2018年4月	2023年3月	代表
32	田中聡	「平和博物館における戦争体験継承のための展示モデル構築」(代表:兼清順子)	挑戦的萌芽研究	2016年4月	2019年3月	分担
33	竹内千代子	近世後期京都俳壇における芭蕉顕彰資料の収集と研究	基盤研究 (C)	2017年4月	2020年3月	代表
34	田中弘美	手掌触覚伝達による手術手技の遠隔VR実地訓練基盤構築	基盤研究(A)	2017年4月	2022年3月	代表
35	田中弘美	視覚的質感解析に基づく触覚的質感特徴抽出 —光沢から触り心地を推定する—	挑戦的研究(開拓)	2018年4月	2020年3月	代表
36	稲葉光行	メタバースを用いた日本の伝統文化及び生活文化の状況学習支援環境に関する総合的研究	基盤研究(B)	2015年4月	2020年3月	代表

37	木立雅朗	五条坂の窯業考古学的研究-多様性と「伝統」の現在-	基盤研究○	2018年4月	2021年3月	代表
38	西林孝浩	河北省ギョウ城遺跡出土事例の分析を中核とした東魏・北齊仏教美術の総合的研究	基盤研究○	2017年4月	2020年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	田中覚	実測ビッグデータを活用した、アジア歴史文化遺産のデジタルミュージアム研究開発	立命館大学・アジア・日本研究推進プログラム	2017年4月	2020年3月	代表
2	西浦敬信	ピンスポット目覚まし時計の次行課検証のためのオーディオスポットの開発	科学技術執行機構 社会還元加速プログラム (SCORE)	2018年8月	2019年3月	代表
3	西浦敬信	気体層音響レンズを用いたウェアラブルオーディオスポットの研究	公益財団法人 大川情報通信基金 研究助成	2018年11月	2019年11月	代表
4	川内有子	翻訳をとおした文化受容の研究-忠臣蔵を題材として	若手研究者海外挑戦プログラム	2018年4月	2018年9月	代表
5	相田愛子	デジタル・アーカイブズの拡充を通じた中世の写経事業についての研究-館蔵の神護寺経と金沢貞顕寄進「紺紙金字法華経」の料紙・装飾・絵画分析を中心に-	平成30年度国立歴史民俗博物館共同利用型共同研究(館蔵資源利用型)	2018年4月	2019年3月	代表

9. 知的財産権

No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	脇田航	PCT 特許	広島市立大学	発明者	PCT/JP2018/029724	WO/2019/031539		日本